

令和 8 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会
第 1 回理事会 次第

日 時 令和 8 年 7 月 1 7 日 (金)
午後 3 時から
場 所 小平市役所 6 階大会議室

1 開会あいさつ

2 役員紹介・理事紹介

3 協議事項

- (1) 令和 8 年度都市社連協ブロック研修会について
- (2) 令和 8 年度都市社連協交流大会・社会教育委員研修会実施要項（案）について

4 報告事項

- (1) 令和 8 年度全国社会教育委員連合表彰について
- (2) 令和 8 年度（一社）全国社会教育委員連合第 1 回総会について
- (3) 令和 8 年度関東甲信越静社会教育委員連絡協議会 第 1 回理事会について
- (4) その他

5 その他

【配付資料】

- ・【協議 1】令和 8 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会ブロック研修会実施計画（案）
- ・【協議 2】令和 8 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会実施要項（案）
- ・【報告 1】令和 8 年度全国社会教育委員連合表彰候補者推薦書
- ・【報告 2】令和 8 年度（一社）全国社会教育委員連合第 1 回総会次第及び議事資料
- ・【報告 3】令和 8 年度関東甲信越静社会教育委員連絡協議会第 1 回理事会議事資料
- ・【報告 4－1】令和 8 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会役員名簿及び理事名簿
- ・【報告 4－2】東京都市町村社会教育委員連絡協議会役員輪番表
都市社連協ブロック編成、役員及びブロック幹事一覧

第 2 回理事会：令和 9 年 2 月 1 9 日（金）開催予定

協議 1

令和8年度

東京都市町村社会教育委員連絡協議会ブロック研修会実施計画（案）

統一テーマ 「わくわくが広がる共生のまちづくり

～対話と学びが奏でるハーモニー～」

ブ ロ ッ ク	幹 事	開催日時	場 所	研修テーマ 内 容	派遣 役員
1	日の出町	11月14日（土） 14時00分～ 16時00分	日の出町役場または、ひのでグリーンプラザ（予定）	【テーマ】 共に学び 支え合い みんなで創る まちづくり 【内容】 第1部：郷土芸能の伝承を通じた大人と子供の関わり、後継者の育成 第2部：大学、大規模商業施設との包括的協働・連携協力に関する協定による教育活動の推進	未定
2	東大和市	11月18日（水） 13時30分～ 16時00分	東大和市立中央公民館ホール	未定	未定
3	稲城市	10月24日（土）	野村不動産いなぎアリーナ（総合体育館）	【テーマ】 市民協働のまち稲城 ～人が手を取り人の想いを後世につなぐまちづくり～ 【内容】 第1部：稲城市社会教育委員の取組 第2部：地域の資源を活かしたまちづくり 講師：谷口榮 第3部：市民協働でつくる市民文化祭・芸術祭	
4	東村山市	10月3日（土） 13時00分～16時00分	S&D市民センター 第1～3会議室	【テーマ】 一緒に考えよう、これからの地域の担い手づくり 【内容】 第1部：東村山市委員による活動事例の紹介 第2部：グループディスカッション	未定
5	小金井市	11月6日（金） ※時間は未定	小金井市民会館 萌え木ホール	未定	未定

※派遣役員については、日程が出揃い次第、正副会長市で調整します。

令和8年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会
交流大会・社会教育委員研修会 実施要項（案）

第2回役員会・拡大役員会/第1回理事会

（令和8.7.17）

協議 2

日 時：令和8年12月12日（土）午後1時30分～（受付午後1時00分から）

場 所：ルネこだいら 中ホール（小平市美園町1-8-5）

主 催：東京都市町村社会教育委員連絡協議会

13:30	交流大会 ■第1部 式典（15分） 開 会 都市社連協副会長 須崎 奈緒美 （日野市） あいさつ 都市社連協会長 生尾 光 （小平市） 来賓祝辞 東京都小平市教育委員会教育長 青木 由美子 氏
13:45	■第2部 各ブロック研修会実施報告（各ブロック持ち時間 10 分）※質疑応答含む 第1ブロック幹事 日の出町 第2ブロック幹事 東大和市 第3ブロック幹事 稲城市 第4ブロック幹事 東村山市 第5ブロック幹事 小金井市 ※今年度の統一テーマを受け実施された各ブロック研修会の内容報告
14:35	休憩（10分）
14:45	■第3部 社会教育委員研修会（時間 100 分）※質疑応答含む ○基調講演 内容：社会教育の重要性、社会教育の現在と未来、クロストークを聞く 上での観点の提示 講師：東京学芸大学 倉持 伸江 氏 ○登壇者紹介 パネリスト：小平市社会教育委員 ファシリテーター：東京学芸大学 倉持 伸江 氏 ○パネリストによる活動紹介等とクロストーク
16:25	閉 会 都市社連協副会長 森田 明美 （東村山市）

令和8年度全国社会教育委員連合表彰候補者推薦書

基準日: 令和8(2026)年4月1日

会員名
(県等名)

東京都市町村

1302

ふりがな	たけもと せいこ	生年月日	年月日	年齢	性別
氏 名	武本 誠子		〈記載省略〉	〈記載省略〉	〈記載省略〉
現住所	〒 〈記載省略〉				
所 属	奥多摩町		職 業	〈記載省略〉	
推薦区分	1 ○	2	3	通算年数(区分1・2)	19年1か月
社会教育委員に関する略歴	〔社会教育委員歴〕(施行細則第2条第1項関係) 平成19年3月1日～平成29年11月1日 奥多摩町社会教育委員 (10年8ヶ月) 平成29年11月2日～現在に至る 奥多摩町社会教育委員の会議職務代理者 (8年5ヶ月)				
	〔都道府県及び政令指定都市単位に結成された社会教育委員の団体の長の経歴〕(施行細則第2条第2項関係)				
	〔関係職員として5年以上在職した経歴〕(施行細則第2条第3項関係)				
	〔その他特筆すべき社会教育委員及び社会教育の活動の略歴〕 平成20年8月27日～令和6年11月3日 奥多摩町教育文化活動奨励者推薦委員 (16年2ヶ月)				
受賞歴	〔社会教育委員関係〕 平成26年4月19日 東京都社会教育委員連絡協議会会長表彰				
	〔その他特筆すべき受賞歴〕				
推薦の事由	一般社団法人全国社会教育委員連合表彰規定第4条第1号及び表彰規定施行細則第2条第1号に該当するので推薦する。 武本氏は今期で10期目となり、社会教育委員として尽力している。 また平成29年11月から7年5月間に渡り職務代理を務め、奥多摩町の社会教育行政に多大な貢献をしている。 さらに、令和2年度は東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1ブロックの幹事を務め、ブロック研修会開催において、中心的役割を担う等、同連絡協議会の運営と発展に寄与した。				
備考	氏名や市町村名等の難しい漢字の説明はここに記入してください。手書きでも構いません。				

報告2

令和8(2026)年度 第1回 総会 次 第

令和8年5月22日(金)
14時30分から16時30分まで
日本弘道会ビル 8階 講堂

開 会

来賓挨拶 文部科学省 総合教育政策局 社会教育振興総括官 神山 弘 様

挨 拶 鈴木 眞理 会長

- 1 定足数報告
- 2 議長選出
- 3 議事録署名人選出
- 4 議 事

- 第1号議案 令和7(2025)年度事業報告・決算報告について
- 第2号議案 第68回(令和8(2026)年)全国社会教育研究大会(大阪大会)について
- 第3号議案 第69回(令和9(2027)年)全国社会教育研究大会(愛知大会)について
- 第4号議案 第70回(令和10(2028)年)全国社会教育研究大会(静岡大会)について
- 第5号議案 理事の退任及び選任について

5 報 告

- 1 令和8年度副会長の選定について
- 2 第67回全国社会教育研究大会(岩手大会)について

6 その他

- 1 今後の総会等会議の予定
- 2 その他

閉 会

【配布資料】

- 議事資料1 令和7(2025)年度事業報告・決算報告
- 議事資料2 第68回(令和8(2026)年)全国社会教育研究大会(大阪大会)開催要項(案)
- 議事資料3 第69回(令和9(2027)年)全国社会教育研究大会(愛知大会)開催概要(素案)
- 議事資料4 第70回(令和10(2028)年)全国社会教育研究大会(静岡大会)(案)
- 議事資料5 令和8(2026)年度役員一覧

報告資料 第67回全国社会教育研究大会(岩手大会)報告

- 参考資料1 今後の総会等会議の予定
- 参考資料2 全国大会開催地一覧
- 参考資料3 地区大会開催地一覧
- 参考資料4 全国大会ローテーション表(案)

定款

令和8(2026)年度 第1回 総会
議 事 資 料 等

令和8年5月22日(金)
14時30分から16時30分まで

一般社団法人 全国社会教育委員連合

令和7(2025)年度 事業報告

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

I 会議

1 理事会・総会

(1) 第1回理事会

日 時 令和7年5月23日(金) 11時15分から12時45分まで

会 場 日本弘道会ビル 8階 講堂

議 事 第1号議案 令和6年度事業報告・決算報告について

第2号議案 第67回全国社会教育研究大会(岩手大会)について

第3号議案 第68回全国社会教育研究大会(大阪大会)について

第4号議案 第69回全国社会教育研究大会(愛知大会)について

第5号議案 次期役員(理事・監事)について

第6号議案 顧問の選任について

第7号議案 事務局長の選任について

第8号議案 研究員の選任について

いずれの議案も原案のとおり承認された。

報 告 1 新規事業等構想検討委員会について

2 第66回全国社会教育研究大会(茨城大会)について

その他 今後の総会等の日程について

(2) 理事懇談会

日 時 令和7年5月23日(金) 12時45分から13時15分まで

会 場 日本弘道会ビル 8階 講堂

内 容 懸案事項について

(3) 第1回総会

日 時 令和7年5月23日(金) 14時45分から16時45分まで

会 場 日本弘道会ビル 8階 講堂

議 事 第1号議案 令和6年度事業報告・決算報告について

第2号議案 第67回全国社会教育研究大会(岩手大会)について

第3号議案 第68回全国社会教育研究大会(大阪大会)について

第4号議案 第69回全国社会教育研究大会(愛

第5号議案 次期役員(理事・監事)について

いずれの議案も原案通り承認された。

(休憩 新理事による第2回理事会を開催)

報 告 1 令和7・8年度の役員構成について

第2回理事会（新理事）で決定した役員構成について報告された。

2 顧問の選任について

顧問に山崎清男を選任したことが報告された。

3 事務局長の選任について

事務局長に豊田政治を選任したことが報告された。

4 研究員の選任について

特別研究員に稲葉隆を選任したことが報告された。

5 新規事業等構想検討委員会について

6 第66回全国社会教育研究大会（茨城大会）について

その他 今後の総会等の日程について

(3) 第2回理事会

日 時 令和7年5月23日（金） 15時30分から15時55分まで

会 場 日本弘道会ビル 8階 講堂

議 事 第1号議案 令和7・8年度会長・副会長・常務理事の選定について

代表理事（会長）に鈴木眞理、副会長に大島まな、神山敬章、大橋清司、常務理事に豊田政治を選定した。会長に事故等があった時の職務代理者として、副会長の大島まな、神山敬章が指名された。被選定者は、就任を承諾した。

(4) 第3回理事会

日 時 令和7年10月29日（水） 14時から15時30分まで

会 場 キオクシアアイーナ（いわて県民情報交流センター）804会議室

議 事 第1号議案 第68回全国社会教育研究大会（大阪大会）について

第2号議案 第69回全国社会教育研究大会（愛知大会）について

第3号議案 第70回全国社会教育研究大会の開催地について

関東甲信越静地区で引き受け、静岡県で開催することが報告された。

第4号議案 理事の退任及び選任について

いずれの議案も原案のとおり承認された。

報 告 令和7年度社会教育委員活動活性化セミナー及び助成事業について

その他 今後の総会等の日程について

(5) 第2回総会

日 時 令和7年10月30日（木） 10時から11時30分まで

会 場 キオクシアアイーナ（いわて県民情報交流センター）804会議室

議 事 第1号議案 第68回全国社会教育研究大会（大阪大会）について

第2号議案 第69回全国社会教育研究大会（愛知大会）について

第3号議案 第70回全国社会教育研究大会の開催地について

関東甲信越静地区で引き受け、静岡県で開催することが報告された。

第4号議案 理事の退任及び選任について

いずれの議案も原案のとおり承認された。

報 告 1 令和7・8年度副会長の選定について

第4回理事会で決定した副会長について報告された。

2 令和7年度社会教育委員活動活性化セミナー及び助成事業について

その他 1 今後の総会等の日程について

(6) 第4回理事会

日 時 令和7年10月30日（木）10時25分から10時35分まで

会 場 キオクシアアイーナ（いわて県民情報交流センター）804会議室

議 事 第1号議案 令和7・8年度副会長の選定について

副会長に野崎洋司を選定した。被選定者は、就任を承諾した。

(7) 第5回理事会

日 時 令和8年2月20日（金）11時45分から13時15分まで

会 場 日本弘道会ビル 8階 講堂

議 題 第1号議案 令和8(2026)年度事業計画（案）・収支予算（案）について

第2号議案 第68回全国社会教育研究大会（大阪大会）について

第3号議案 第69回全国社会教育研究大会（愛知大会）について

第4号議案 第70回全国社会教育研究大会（静岡大会）について

第5号議案 全国大会開催地区ローテーションについて

第6号議案 特別委員会の設置について

いずれの議案も原案のとおり承認された。

報 告 1 第67回全国社会教育研究大会（岩手大会）について

2 令和7年度特別委員会の実施状況について

3 会長及び常務理事の職務の執行状況について

その他 今後の総会等の日程について

(8) 第3回総会

日 時 令和8年2月20日（金）14時45分から16時15分まで

会 場 日本弘道会ビル 8階 講堂

議 題 第1号議案 令和8(2026)年度事業計画（案）・収支予算（案）について

第2号議案 第68回全国社会教育研究大会（大阪大会）について

第3号議案 第69回全国社会教育研究大会（愛知大会）について

第4号議案 第70回全国社会教育研究大会（静岡大会）について

第5号議案 全国大会開催地区ローテーションについて

いずれの議案も原案のとおり承認された。

報 告 1 第67回全国社会教育研究大会（岩手大会）について

2 令和7年度特別委員会の実施状況について

3 会長及び常務理事の職務の執行状況について

その他 今後の総会等の日程について

2 事務局担当者会議

日 時 令和7年10月29日（水）16時から17時30分まで

会 場 キオクシアアイーナ（いわて県民情報交流センター）804会議室

内 容 事例発表 新規事業等構想検討委員会と北海道社会教育委員連絡協議会
について

北海道社会教育委員連絡協議会 事務局長 工藤 朝博 氏

全体討議～情報交換・研究協議

テーマ 都道府県社教連の運営－連絡協議会の構成

司会・進行 全国社会教育委員連合 常務理事 豊田 政治

II 実施事業

1 研修事業

(1) 全国大会 第67回全国社会教育研究大会（岩手大会）の開催

大会スローガン 学びと絆で未来を拓く！社会教育のイーハトーブをめざして in
いわて

研究主題 共に学び支えあう社会教育の実践

～ウェルビーイングの実現に向けて～

期 日 令和7(2025)年10月29日（水）～31日（金）

会 場 キオクシアアイーナ（いわて県民情報交流センター）、マリオス（盛岡
市民文化ホール、盛岡地域交流センター）、ホテルメトロポリタン盛岡
NEW WING、ホテルメトロポリタン盛岡本館、盛岡市中央公民館

参加対象 都道府県・政令指定都市・市区町村社会教育委員及び社会教育関係者、
公民館職員、社会教育関係団体、その他生涯学習・社会教育に関心のある方

参加者数 876名

主 催 一般社団法人全国社会教育委員連合、東北地区社会教育委員連絡協議会、
東北地区公民館連絡協議会、岩手県社会教育連絡協議会、第67回
全国社会教育研究大会岩手大会実行委員会

共 催 岩手県市町村教育委員会協議会、岩手県教育委員会、盛岡市教育委員会、岩手県生涯学習振興協会、公益財団法人盛岡市文化振興事業団
後 援 文部科学省、公益社団法人全国公民館連合会、青森県教育委員会、秋田県教育委員会、宮城県教育委員会、山形県教育委員会、福島県教育委員会、岩手県、盛岡市、岩手県市長会、岩手県町村会

日 程

【1日目】 10月29日（水）キオクシアアイーナ（いわて県民情報交流センター）804会議室

○（一社）全国社会教育委員連合 理事会

○都道府県・政令指定都市社会教育委員連絡協議会等事務局担当者会議

【2日目】 10月30日（木）、キオクシアアイーナ（いわて県民情報交流センター）804会議室、マリオス（盛岡市民文化ホール、盛岡地域交流センター）、

○（一社）全国社会教育委員連合 総会

○歓迎アトラクション

○開会行事

・表彰式 （一社）全国社会教育委員連合表彰、東北地区社会教育委員連絡協議会表彰、東北地区公民館連絡協議会功労者表彰、岩手県社会教育委員連絡協議会表彰

○記念講演

○シンポジウム

○閉会行事

【3日目】 10月31日（金） 盛岡市民文化ホール ほか4会場

○分科会（全5分科会）

(2) 地区別社会教育研究大会

○北海道地区大会（檜山大会）

研究主題 持続可能な地域社会の実現に向けて～これからの社会教育委員の在り方～

期 日 令和7（2025）年11月7日（金）

会 場 今金町総合体育館「あいきゅーぶ」

参加者 266名

○東北地区大会（岩手大会）

全国大会と合同開催

○関東甲信越静地区大会（神奈川大会）

大会スローガン 「社会教育で創る 育む つなげる 共生の未来へ」

大会主題 すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること

期 日 令和7(2025)年11月20日(木)～21日(金)

会 場 関内ホール ほか4会場

参加者 712名

○東海北陸地区大会（岐阜大会）

大会主題 学びと絆を深める社会教育～人・地域のつながりをより確かなものにする社会教育の推進～

期 日 令和7(2025)年10月3日(金)

会 場 ココロかさなるCCNセンター（瑞穂市総合センター、瑞穂市民センター）

参加者 564名

○近畿地区大会（和歌山大会）

研究主題 「人の和と地域の和」

～全世代の主体的な学びを支える社会教育～

期 日 令和7(2025)年9月5日(金) 台風の影響のため中止

会 場 和歌山県民文化会館、和歌山県自治会館

○中国・四国地区大会（山口大会）

大会スローガン とともに学び合い支え合う「ふく（福）」あふれる社会づくりへ！！

研究主題 ～「おいでませ ふくの国、山口」 今日から始める新たな社会教育～

期 日 令和7(2025)年11月20日(木)～21日(金)

会 場 山口県総合保健会館、セントコア山口

参加者 418名

○九州地区大会（福岡大会）

研究テーマ 社会教育の可能性～新しい時代の風 地域コミュニティを支える社会教育の実践～

期 日 令和7(2025)年11月13日(木)～14日(金)

会 場 アクロス福岡

参加者 734名

○政令指定都市社会教育委員連絡協議会（神戸市）

期 日 令和7(2025)年11月12日（水）

開催方法 WEB開催（「Teams」を使用）

参加者 54名

(3) 国内研修（社会教育委員活動活性化セミナー）

令和6年5月15日付で実施要項を都道府県・政令指定都市社会教育委員連絡協議会等宛に送付したが、期限までに応募が無かった。

2 調査研究事業

- ・社会教育委員の人数調査（令和7(2025)年9月1日現在で調査）
- ・調査結果はNewsletterNo.30（令和8(2026)年3月発行）に掲載

3 広報事業

(1) 機関紙「社教連会報」の発行 B5判 8ページ 26,000部発行

以下のとおり発行し、都道府県・政令指定都市社会教育委員連絡協議会へ配布するとともにホームページに掲載

第97号 令和7年9月25日発行

第98号 令和8年2月25日発行

(2) 機関紙「Newsletter」の発行 A4判 4ページ

No.30を令和8年3月に発行し、都道府県・政令指定都市社会教育委員連絡協議会へ配布

4 助成事業

令和7年5月14日付で実施要項を都道府県・政令指定都市社会教育委員連絡協議会等宛に送付した。

2件の申請があり、審査の結果、不承認となった。

5 情報公開事業

ホームページの記事の情報更新を行い、広く情報を公開した。

6 表彰事業

令和7(2025)年10月30日（木）の全国社会教育研究大会（岩手大会）開会行事において、表彰式を行った。被表彰者は9ページのとおり。

7 出版事業

(1) 機関誌『社教情報』の発行 A 5 判 6 4 ページ 定価 360 円

第 9 3 号 特集：地域の活性化と社会教育委員

(令和 7 (2025) 年 9 月 1 日発行 9,700 部発行)

第 9 4 号 特集：地域課題に向き合う社会教育委員

(令和 8 (2026) 年 2 月 1 0 日発行 9,600 部発行)

(2) 参考図書『改訂版 社会教育委員のための Q & A』の継続販売

A 5 判 98 ページ 令和 3 年 4 月 2 6 日改訂版第 5 刷発行 定価 1,200 円

8 その他の事業

- ・社会教育委員バッジの普及（主に全国大会時及びホームページ）
- ・社会教育委員研修会等に関する相談、問合せへの対応（随時）

9 その他

- ・特別委員会の運営

(1) 『社教情報』編集委員会（令和 5 (2023) 年度第 3 回理事会で承認）

第 93 号の企画、内容構成をはじめ編集作業を行った。

(2) 『社教情報』編集委員会（令和 7 (2025) 年度第 5 回理事会で承認）

第 94 号の企画、内容構成をはじめ編集作業を行った。

(3) 『新・社会教育委員のための Q & A』（仮称）編集委員会（令和 5 (2023) 年度第 3 回理事会で承認）

新版の発行に向けて、樹村房（出版社）と打合せをし、メール連絡により執筆者に原稿を依頼し執筆原稿を確認した。

令和 7 (2025) 年度 全国社会教育委員連合表彰 受賞者一覧

(敬称略)

都道府県名	所属自治体	氏 名	都道府県名	所属自治体	氏 名
北海道	弟子屈町	金澤 三恵子	岐阜県	本巣市	天野 知子
	留萌市	熊澤 秀子	静岡県	長泉町	土屋 悟
	釧路市	田丸 典彦	愛知県	大治町	石黒 清介
	網走市	成瀬 三津子		蒲郡市	鈴木 庸子
青森県	佐井村	岩清水 秀一	三重県	四日市市	竹下 すま子
岩手県	久慈市	大沢 リツ子	滋賀県	東近江市	北川 久補
宮城県	南三陸町	阿部 一郎	京都府	大山崎町	森 一眞
秋田県	鹿角市	石井 勲	兵庫県	伊丹市	波多江 みゆき
山形県	真室川町	栗田 良美	奈良県	橿原市	吉岡 眞
福島県	小野町	横田 貞子	和歌山県	紀の川市	楠 富晴
	新地町	大須賀 昇	鳥取県	大山町	野口 愛子
茨城県	土浦市	小泉 光正	島根県	邑南町	荒水 博昭
	石岡市	平澤 正則	広島県	江田島市	白澤 文恵
栃木県	宇都宮市	河田 隆	山口県	周防大島町	河原 光雄
群馬県	富岡市	下田 貴美子	徳島県	海陽町	乃一 俊治
埼玉県	幸手市	藤原 徹也	香川県	さぬき市	石原 新造
	吉見町	矢場 光夫	愛媛県	宇和島市	梶田 浩
千葉県	横芝光町	永野 貞雄	高知県	香南市	小松 喜久子
	鋸南町	鈴木 正一郎	福岡県	上毛町	西 和 政
	館山市	石橋 寿一		宮若市	神谷 博之
東京都	東久留米市	菅沼 法子	佐賀県	白石町	諸岡 利公
神奈川県	山北町	河合 剛英	長崎県	西海市	佐々木 義信
新潟県	五泉市	鈴木 紀美子	熊本県	阿蘇市	松下 レイ子
富山県	立山町	澤井 隆	大分県	日出町	矢野 禎司
石川県	内灘町	米田 満	宮崎県	高原町	相良 禮子
福井県	越前町	時田 静香	鹿児島県	枕崎市	吉松 幸夫
	越前町	山本 尚美		与論町	富 敏紀
山梨県	韮崎市	榊形 昭平	政令指定 都市	相模原市	金子 友枝
長野県	茅野市	矢崎 美知子		名古屋市	原田 信之
	木祖村	原 悦子		北九州市	野依 智子

収支決算（令和7年4月1日～令和8年3月31日）
（一社）全国社会教育委員連合

（単位：円）

科 目	予算額	決算額	比較増減	摘 要
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①会費収入				
正会員	6,800,000	6,800,000	0	会員数68団体×10万円
賛助会員	0	0	0	
②受取寄附金				
寄附金	0	0	0	
助成事業寄附金	0	0	0	
③事業収入				
出版事業収益				
社教情報	5,300,000	5,675,268	375,268	
住民参画	0	0		
Q&A	10,000	47,430	37,430	
研修資料	0	0		
広告料	50,000	50,000	0	『社教情報』の広告掲載料
研修事業収益				
セミナー参加費	0	0	0	
バッジ収益	70,000	28,800	△41,400	
④雑収益				
受取利息				
受取利息	0	17,576	17,576	普通預金利息（三井住友銀行、みずほ銀行含む）
経過利息	0	0	0	
有価証券運用益	0	0	0	
有価証券売却益	0	0	0	
償却原価法適用による金利調整差額償却額	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
経常収益計	12,230,000	12,618,874	388,874	
(2) 経常費用				
①事業費				
人件費	2,047,000	2,355,712	308,712	事務局長等2名の事業従事分給与
研修事業			0	
全国大会	850,000	815,426	△34,574	開催地への負担金及び事務費、職員旅費
地区大会	700,000	740,421	40,421	開催地への負担金及び事務費、職員旅費
国内研修	110,000	0	△110,000	活性化セミナー応募無し
海外研修	0	0	0	
調査研究事業			0	
調査研究費	0	0	0	実績なし
広報事業			0	
社教連会報	760,000	761,940	1,940	印刷費、発送費（年2回）
ニュースレター	20,000	21,270	1,270	印刷費、発送費（年1回）
助成事業			0	
助成事業	110,000	0	△110,000	応募2件・実施無し
情報公開事業			0	
情報公開	270,000	264,000	△6,000	ホームページ更新、PC保守
出版事業			0	
社教情報	2,200,000	2,282,844	82,844	印刷費、発送費、原稿料
Q&A	333,000	0	△333,000	増刷費
研修資料	0	0	0	実績なし
発送費	0	0	0	実績なし
その他の事業			0	
バッジ制作	0	0	0	実績なし
表彰	270,000	267,669	△2,331	表彰状印刷費、フォルダー代(2年分)、筆耕料、発送費
新規事業試行経費	222,000	0	△222,000	実施無し
(事業費計)	7,892,000	7,509,282	△382,718	

科 目	予算額	決算額	比較増減	摘 要
②管理費				
役員報酬	0	0	0	常務理事管理業務分給与
給料手当	540,000	588,928	48,928	事務局長等2名の管理業務分給与
厚生費	15,000	15,308	308	労働保険料事業主負担分（職員1名分）
役員活動手当	90,000	111,738	21,738	監査日当、役員の会議等出席交通費補助
旅費交通費	3,000	5,519	2,519	事務局近距離交通費
消耗品費	160,000	181,993	21,993	封筒購入、コピー代、事務用品等
通信費	250,000	239,457	△10,543	通信用郵券等、電話料金
印刷製本費	0	0	0	実績なし
会議費	300,000	307,587	7,587	総会等会場使用料、決算資料作成費、会議開催通知・資料発送費
借損料	2,500,000	2,499,859	△141	事務所家賃、電話回線使用料、プロバイダー料金
雑費	150,000	158,954	8,954	法人登記簿本印刷代、振込手数料、消通費、アルバイト代、払込取扱票
光熱費	100,000	99,636	△364	電気料金、空調費
租税公課	230,000	361,400	131,400	法人事業税、法人住民税
(管理費計)	4,338,000	4,570,379	232,379	
経常費用計	12,230,000	12,079,661	△150,339	
当期経常増減額	0	539,213	539,213	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
募金収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
募金諸掛費			0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	539,213	539,213	
一般正味財産期首残高	19,124,974	20,238,606	1,113,632	
一般正味財産期末残高	19,124,974	20,777,819	1,652,845	
II 正味財産期末残高	19,124,974	20,777,819	1,652,845	

財産目録

令和8年3月31日現在

一般社団法人全国社会教育委員連合

(単位：円)

質借対照表科目	場所・置場等	使用目的等	金額
(流動資産)			
(現金預金)			
現金	事務所内金庫	運転資金として	0
預貯金	普通預金	運転資金として	
	三菱UFJ銀行 虎ノ門支店		4,664,090
	三井住友銀行 神保町支店		8,834
	みずほ銀行 虎ノ門支店		4,225,667
	ゆうちょ銀行		10,703,118
流動資産計			19,601,709
(固定資産)			
国債			0
固定資産合計			0
(その他の資産)			
敷金			1,184,944
その他資産計			1,184,944
資産合計			20,786,653
(流動負債)			
預り金	所得税等		8,834
未払金			0
流動負債合計			8,834
負債合計			8,834
正味財産			20,777,819

令和 8 年 5 月 7 日

監 査 報 告 書

一般社団法人全国社会教育委員連合
会長 鈴木 眞 理 様

一般社団法人全国社会教育委員連合

監事 加藤 重義 

監事 田中 謙 

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日までの会計及び業務に関して、
加藤は令和 8 年 5 月 7 日（木）に、田中は令和 8 年 5 月 7 日（木）
にそれぞれ監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法の概要

- （1）会計監査について、会計帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- （2）業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- （1）収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく表示していると認める。
- （2）業務の執行が妥当であったと認める。

以 上

第 68 回全国社会教育研究大会 大阪大会

令和 8 年度近畿地区社会教育研究大会 [大阪大会] ・ 令和 8 年度大阪府社会教育研究会議
開催要項 (案)

1 大会スローガン
学ぶってオモロイやん つながるってええやん 地域のことはまかしとき

2 研究主題
多様な人材・資源をつなげる社会教育 ～学びを社会の活力に～

3 開催趣旨
大阪は江戸時代には「天下の台所」と呼ばれ、物流と商業の中心でした。その頃より、人形浄瑠璃、上方落語といった「オモロイ」に関する文化が根付いています。「オモロイ」は人々を集め、また「自分もやってみよう」という興味のきっかけになり、実際にやってみた後も「もっとやりたい」という原動力になるものではないでしょうか。

大阪府では、令和 5 年 3 月に策定された「第 2 次大阪府教育振興基本計画」に基づき、「おもろいやん」、「ええやん」、「まかしとき」のキーワードとともに子どもたちが将来を生き抜く力を身につけることができるよう、地域コミュニティの基盤を支える社会教育を推進しています。歴史や文化、様々な人とのつながりを通じて発展してきた大阪で本大会を開催し「多様な人材・資源をつなげる社会教育 ～学びを社会の活力に～」というテーマで語り合うことは、今後の社会教育にとって大きな意味を持つと考えます。

今大会では、教育関係者、行政担当者等だけではなく、民間事業者や社会教育士、社会教育に関わる学生などが一堂に会することになり、一人ひとりが社会教育を身近に感じることで、未来につながる多様な人材の育成や資源の活用につなげていくことをめざします。異なる年齢、背景、経験を持つ人々が協力し合い、共に学び合うことで、新たな視点やアイデアを得ることができ、社会教育の推進、発展に寄与する一助となれば、うれしく思います。

本大会を通じて、学びの楽しさにつながるの大切さが再認識されるとともに、新たな協力関係が生まれ、地域社会の発展に向けた新たな一歩につながっていくことを期待します。

4 主 催
一般社団法人全国社会教育委員連合、近畿地区社会教育委員連絡協議会、大阪府教育委員会、大阪府社会教育委員連絡協議会、第 68 回全国社会教育研究大会大阪大会実行委員会

5 後 援 (予定)
文部科学省、京都府教育委員会、滋賀県教育委員会、奈良県教育委員会、兵庫県教育委員会、和歌山県教育委員会、大阪府、大阪府教育委員会、堺市、堺市教育委員会

6 期 日
令和 8 年 10 月 28 日 (水) ～ 30 日 (金)

7 会 場

1 日 目	理事会・担当者会会場	最寄り駅
	会場名 大阪府庁咲洲庁舎 住所 大阪市住之江区南港北 1-14-16	Osaka Metro 南港ポートタウン線 「トレードセンター前」駅
2 日 目	総会・全体会会場 (※総会は関係者のみ)	最寄り駅
	会場名 国際障害者交流センター ビッグ・アイ 住所 堺市南区茶山台 1-8-1	南海泉北線「泉ヶ丘」駅
	情報交換会会場	最寄り駅
	会場名 グレースバリなんば道頓堀店 住所 大阪府中央区道頓堀 1-4-27 道頓堀ベニスビル 1 6 階	南海本線、高野線「なんば」駅 Osaka Metro 御堂筋線「なんば」駅 Osaka Metro 千日前線 堺筋線「日本橋」駅
3 日 目	第 1 ～ 第 5 分科会	最寄り駅
	会場名 新梅田研修センター 住所 大阪市福島区福島 6-23-8	JR 東海道本線「大阪」駅 JR 環状線「福島」駅 Osaka Metro 御堂筋線「梅田」駅 Osaka Metro 谷町線「東梅田」駅 阪急「大阪梅田」駅
	第 6 分科会	最寄り駅
	会場名 大阪府立中之島図書館 住所 大阪市北区中之島 1-2-10	Osaka Metro 御堂筋線「淀屋橋」駅 京阪本線「淀屋橋」駅 京阪中之島線「大江橋」駅 京阪中之島線「なにわ橋」駅

- 8 対 象
都道府県・政令指定都市・市町村社会教育委員及び社会教育関係者、社会教育関係団体、社会教育士、社会教育に関わる学生、その他生涯学習・社会教育に関心のある方

- 9 参 加 費
一人 5,000 円

10 大会日程

1 日目 10/28 (水)						全国社会教育 委員連合 理事会 14:00～15:30		都道府県・政令指 定都市 社会教育委員連絡 協議会等 事務局担当者会議 16:00～17:30			
2 日目 10/29 (木)		全国社会 教育委員 連合総会 10:00～ 11:30		受付 12:00～ 13:00	アトラク ション 13:00～ 13:30	開催行事 表彰式 13:30～ 14:20	記念 講演 14:30～ 15:40	シンポ ジウム 15:50～ 17:10	閉会 行事 17:30 終了		情報交換会 19:00～ 21:00
3 日目 10/30 (金)	受付 分科会 打合せ 9:00～	分科会 9:30～12:00									

- 11 理事会、担当者会議【10月28日(水)】※関係者のみ
14:00～15:30 全国社会教育委員連合 理事会
16:00～17:30 都道府県・政令指定都市社会教育委員連絡協議会等事務局担当者会議

- 12 総会【10月29日(木)】※関係者のみ
10:00～11:30 全国社会教育委員連合 総会

- 13 全体会【10月29日(木)】
12:00～13:00 受付
13:00～13:30 アトラクション 「火縄銃演武」 堺火縄銃保存会
13:30～14:20 開会行事・表彰式
14:30～15:40 記念講演 「夢と冒険 ～モンベル7つのミッション～」
株式会社モンベル代表取締役会長 辰野 勇 氏。
15:50～17:10 シンポジウム

多様な人材・資源で創る地域の未来～もっと社会教育をオモロくするために～		
コーディネーター	大谷 裕美子 氏	文部科学省CSマイスター 大阪府社会教育委員 奈良県社会教育委員 河内長野市立美加の台中学校区ゆめ☆まなびネット代表
コメンテーター	吉本興業所属・住みます芸人 span!	
シンポジスト	明貝 一平 氏	田尻町社会教育委員 一般社団法人田尻町観光協会理事長
	今中 博之 氏	社会福祉法人素王会 INCURVE【インカーブ】理事長/代表
	松藤 昌代 氏	大阪府識字・日本語学習コーディネーター 門真市多文化共生推進協議会地域日本語教育コーディネーター 日本語教育・多文化共生推進協会 kotoba 共同代表

17:10～17:30 閉会行事

- 14 情報交換会【10月29日(木)】
18:30～19:00 受付
19:00～21:00 情報交換会
会 場：グレースバリなんば道頓堀店
(大阪市中央区道頓堀1-4-27 道頓堀ベニスビル1 6階)
参加費：5,000 円

第1～5分科会 会場：新梅田研修センター

第1分科会	社会教育委員の役割【兵庫県】	
	テーマ	社会教育委員のネットワークの意義 ～子どもの生きる力を育む地域教育と社会教育委員の果たす役割～
	コーディネーター	波多江 みゆき 氏（伊丹市社会教育委員）
	コメンテーター	尾崎 公子 氏（兵庫県社会教育委員、兵庫県立大学教授）
	事例発表者	別惣 淳二 氏（三田市生涯学習審議会委員、兵庫教育大学教授） 大西 登司恵 氏（宝塚市社会教育委員） 板野 彰彦 氏（伊丹市社会教育委員） 三善 知子 氏（川西市社会教育委員） 竹部 知佳 氏（猪名川町社会教育委員）
	報告の要旨 及び 討議のポイント	兵庫県阪神北地区社会教育委員協議会（4市1町加盟）では、例年、年間研究テーマを設定し、研修会（年2回）を行うとともに、理事会（年4回）において情報交換を行い、各市町の社会教育推進に資する活動を行っている。 分科会では、「子どもの生きる力を育む地域教育」を発表題として、各市町の社会教育委員による特徴的な取組事例を報告する。事例発表を通じて、複数の自治体の社会教育委員がネットワークを構築し、情報交換や合同研修をすることの意義を全国から集まる参加者とする。

第2分科会	人が育つ環境づくり【滋賀県】	
	テーマ	多世代が共に学び支え合う地域社会の構築 ～「なんとかなる」をみんなでつくる社会教育とは～
	コーディネーター	上田 洋平 氏（高島市社会教育委員、 滋賀県立大学地域共生センター特任講師）
	事例発表者	（1）たかしまアカデミー関係者 ・中川 知香 氏（高島市社会教育委員、準備委員から第1期生） ・安原 翼 氏（準備委員から第2期生） （2）一般社団法人 yourship ・梅村 亮介 氏（滋賀県社会教育委員、社会教育士）
	報告の要旨 及び 討議のポイント	地域や組織で活躍するリーダーや人材が常にいてくれることが理想だが、大事なことは「一人でなんとかする」理想のリーダーや人材（白馬の王子）がいなくとも、そこに「居合わせ」た人たちのつながりの力（ソーシャル・キャピタル）で「なんとかなる」社会をみんなでつくることではないか？ 社会教育を通じて「ここでならなんとかなる」と誰もが思えるまちをつくるにはどうすればよいか。長年の実践者や若手挑戦者の事例をもとに参加者とともに考える。

第3分科会	地域と学校の連携・協働【京都府】	
	テーマ	地域とともにある学校をめざして ～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動への期待と課題～
	コーディネーター	森川 知史 氏（宇治市生涯学習審議会委員、 元京都文教短期大学教授）
	事例発表者	向山 ひろ子 氏（宇治市生涯学習審議会委員、 宇治市立木幡小学校CSコーディネーター）
	報告の要旨 及び 討議のポイント	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進を図る提案を生涯学習審議会と教育委員会が協働で行った。提案当初から審議会委員として関わり、又、在住校区小学校のCSコーディネーター（地域学校協働活動推進員）として活動している現在、一体的な推進を図るためにどのような人々を巻き込み、関係構築を図り、どのようなシステムを築き上げる必要があるか、討議を行う。

第4分科会	社会教育人材の育成【奈良県】	
	テーマ	地域に活力をうみだす社会教育人材の育成 ～社会教育委員と共に地域の活動で成長する若者たち～
	コーディネーター	岡田 龍樹 氏（奈良市社会教育委員、天理大学教授）
	事例発表者	井村 高子 氏（川西町社会教育委員、社会教育士） 石飛 和彦 氏（天理大学教授、人文学部社会教育学科主任） 天理大学人文学部社会教育学科学生
	報告の要旨 及び 討議のポイント	地域に活力をうみだすには様々な世代や立場の人たちの主体的な参加が必要である。とくに地域で人々が成長できる「社会教育」の視点をもつ人材が求められるだろう。学生が、地域の方々に受け入れられながら、どのように地域の活動に取り組み、自分の思いを育て変化し成長していくのか、共に活動している社会教育委員の取組内容と学生自身の声をまじえ発表する。

第5分科会	学びの場づくり【和歌山県】	
	テーマ	「行事」から「事業」への脱却 ～協働による「すこやか橋本 まなびの日」～
	コーディネーター	藤田 直子 氏（和歌山信愛大学客員教授）
	事例発表者	岸田 昌章 氏（橋本市社会教育委員、 すこやか橋本まなびの日実行委員長）
	報告の要旨 及び 討議のポイント	和歌山県橋本市は、県内で先駆けて「橋本市の自治と協働をはぐくむ条例」を制定し、2019年4月から施行している。条例に基づき、「すこやか橋本 まなびの日」をモデル事業として位置づけ、関係者全員が行事を事業として認識するよう試みながら、社会教育委員として「自治」と「協働」を広めることをめざしている。 事例発表を通じて、学びの場づくりについて参加者とともに考える。

第6分科会 会場：大阪府立中之島図書館

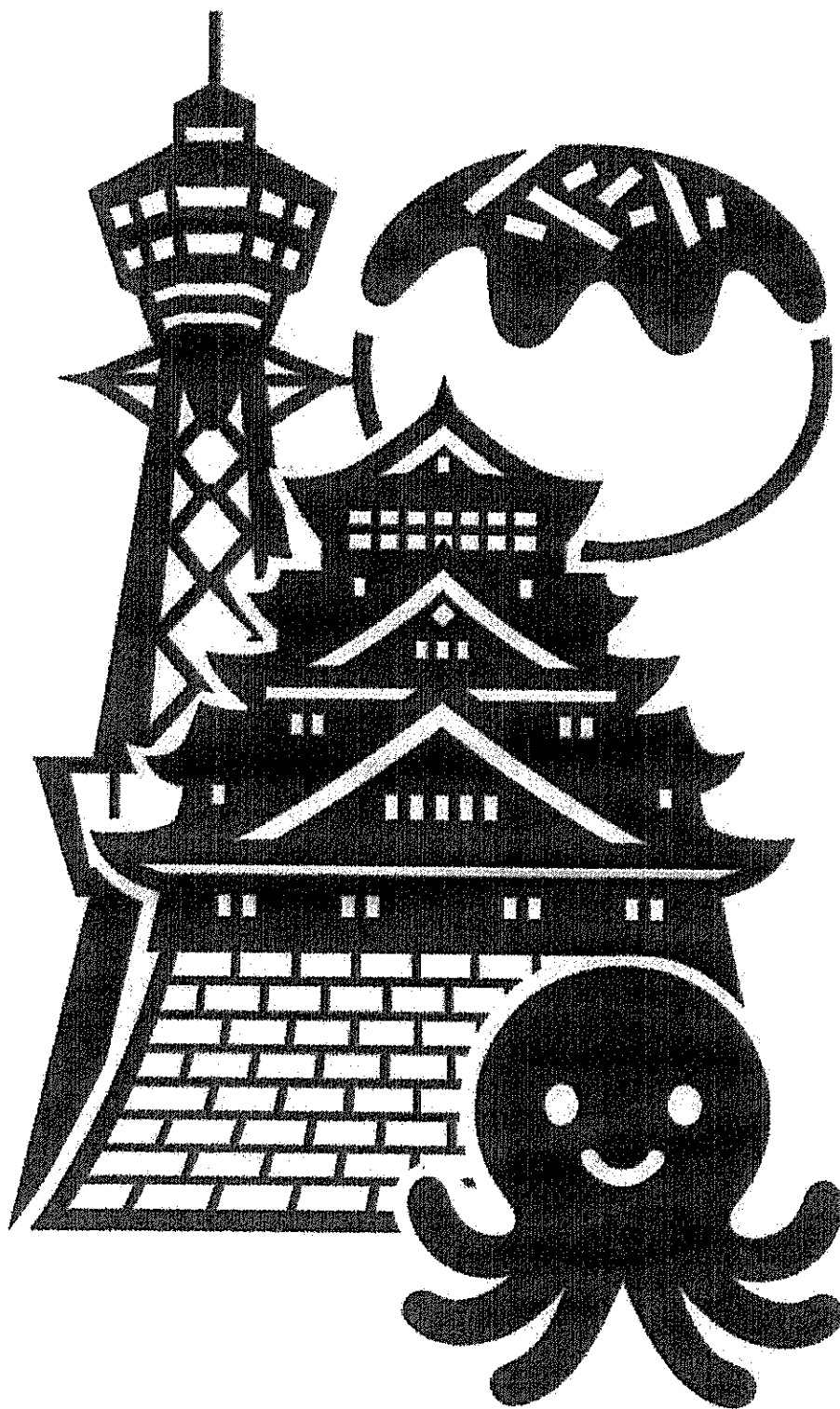
第6分科会	図書館の活用【大阪府】	
	テーマ	図書館による学びづくり・つながりづくり ～住民参加の図書館づくり～
	コーディネーター	久野 和子 氏（大阪府社会教育委員、立命館大学教授）
	事例発表者	原田 貴子 氏（大阪府社会教育委員、熊取町立熊取図書館館長）
	報告の要旨 及び 討議のポイント	図書館の活用を活性化していくためには、学びを提供し、人と人をつなぎ、まちづくりや地域の振興を図る場であることが周知される必要がある。近年、読書離れが問題視されている中、本を読むこと、学ぶこと、伝えることを通して読書がもつ魅力を再確認するとともに、人々が集う場所、つながる場所としての図書館のあり方や魅力について参加者とともに考える。

16 協賛企業・団体（令和8年4月17日現在 順不同）

- ・株式会社モンベル
- ・グンゼ株式会社
- ・SMBC コンシューマーファイナンス株式会社
- ・公益財団法人 大阪ユースホステル協会
- ・大阪商工信用金庫
- ・大容建設株式会社
- ・株式会社プランニングキュービック
- ・堺ヤクルト販売株式会社

第 68 回 全国社会教育研究大会 大阪大会

令和 8 年度近畿地区社会教育研究大会 [大阪大会] ・ 令和 8 年度大阪府社会教育研究会議



【大会スローガン】

学ぶってオモロイやん つながるってええやん 地域のことはまかしとき

【研究主題】

多様な人材・資源をつなげる社会教育 学びを社会の活力に

【開催期間】 令和 8 年 10 月 28 日（水）～30 日（金）

1 大会日程

大会日程

1日目 10/28 (水)					全国社会教育 委員連合 理事会 14:00～15:30		都道府県・政令指 定都市 社会教育委員連絡 協議会等 事務局担当者会議 16:00～17:30			
2日目 10/29 (木)		全国社会 教育委員 連合總會 10:00～ 11:30		受付 12:00～ 13:00	アトラク ション 13:00～ 13:30	開催行事 表彰式 13:30～ 14:20	記念 講演 14:30～ 15:40	シンポ ジウム 15:50～ 17:10	閉会 行事 17:30 終了	情報交換会 19:00～ 21:00
3日目 10/30 (金)	受付 分科会 打合せ 9:00～	分科会 9:30～12:00								

2 会 場

1日目	理事会・担当者会会場	最寄り駅
	会場名 大阪府庁咲洲庁舎	Osaka Metro 南港ポートタウン線 「トレードセンター前」駅
	住所 大阪市住之江区南港北1-14-16	
2日目	総会・全体会会場（※総会は関係者のみ）	最寄り駅
	会場名 国際障害者交流センター ビッグ・アイ	南海東北線「泉ヶ丘」駅
	住所 堺市南区茶山台1-8-1	
	情報交換会会場	最寄り駅
	会場名 グレースバリなんば道頓堀店	南海本線、高野線「なんば」駅 Osaka Metro 御堂筋線「なんば」駅 Osaka Metro 千日前線 堺筋線「日本橋」駅
	住所 大阪府中央区道頓堀1-4-27 道頓堀ベニスビル1 6階	
3日目	第1～第5分科会	最寄り駅
	会場名 新梅田研修センター	JR 東海道本線「大阪」駅 JR 環状線「福島」駅 Osaka Metro 御堂筋線「梅田」駅 Osaka Metro 谷町線「東梅田」駅 阪急「大阪梅田」駅
	住所 大阪市福島区福島6-23-8	
	第6分科会	最寄り駅
	会場名 大阪府立中之島図書館	Osaka Metro 御堂筋線「淀屋橋」駅 京阪本線「淀屋橋」駅 京阪中之島線「大江橋」駅 京阪中之島線「なにわ橋」駅
	住所 大阪市北区中之島1-2-10	

3 対 象

都道府県・政令指定都市・市町村社会教育委員及び社会教育関係者、社会教育関係団体、社会教育士、社会教育に関わる学生、その他生涯学習・社会教育に関心のある方

4 参 加 費

一人 5,000 円

5 全体会【10月29日(木)】

12:00～13:00 受付
13:00～13:30 アトラクション 「火縄銃演武」 堺火縄銃保存会
13:30～14:20 開会行事・表彰式
14:30～15:40 記念講演 「夢と冒険 ～モンベル7つのミッション～」
株式会社モンベル代表取締役会長 辰野 勇 氏
15:50～17:10 シンポジウム 「多様な人材・資源で創る地域の未来
～もっと社会教育をオモロくするために～」
コメンテーター：吉本興業所属・住みます芸人 span!
17:10～17:30 閉会行事

6 情報交換会【10月29日(木)】

19:00～21:00 情報交換会（受付 18:30～）
会 場：グレースバリなんば道頓堀店（大阪府中央区道頓堀1-4-27 道頓堀ベニスビル1 6階）
参加費：5,000 円 ※大会参加費とは別途徴収

7 分科会【10月30日(金)】

第1～5分科会 会場：新梅田研修センター

第1分科会	社会教育委員の役割【兵庫県】
テーマ	社会教育委員のネットワークの意義 ～子どもの生きる力を育む地域教育と社会教育委員の果たす役割～
概要	兵庫県阪神北地区社会教育委員協議会では、例年、年間研究テーマを設定し、研修会等を行っている。今回は「子どもの生きる力を育む地域教育」を発表題として、各市町の社会教育委員による特徴的な取組事例を報告する。事例発表を通じて、複数の自治体の社会教育委員がネットワークを構築し、情報交換や合同研修をすることの意義を全国から集まる参加者と考える。

第2分科会	人が育つ環境づくり【滋賀県】
テーマ	多世代が共に学び支え合う地域社会の構築 ～「なんとかなる」をみんなでつくる社会教育とは～
概要	理想のリーダーや人材がいなくとも、そこに「居合わせ」た人たちのつながりの力（ソーシャル・キャピタル）で「なんとかなる」社会をみんなでつくることではないか、「ここでならなんとかなる」と誰もが思えるまちをつくるにはどうすればよいか。長年の実践者や若手挑戦者の事例をもとに参加者とともに考える。

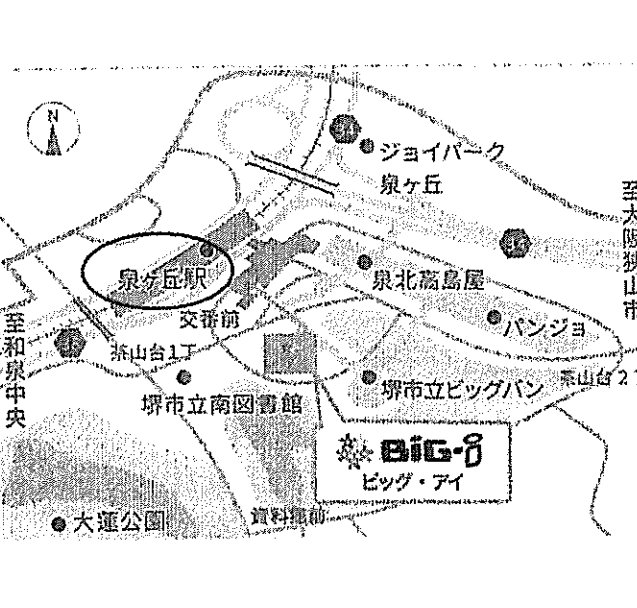
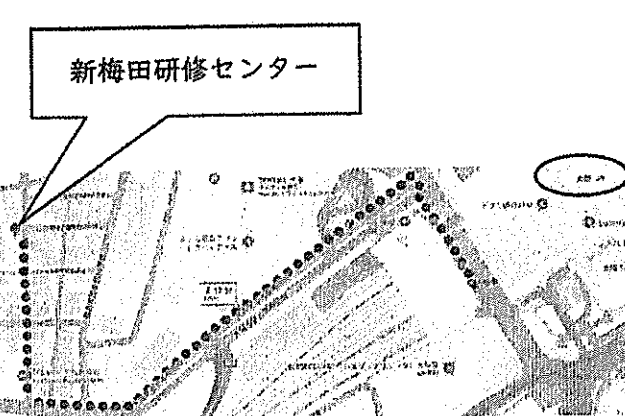
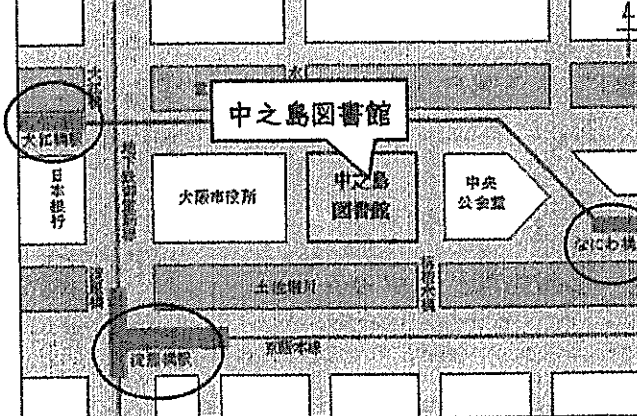
第3分科会	地域と学校の連携・協働【京都府】
テーマ	地域とともにある学校をめざして ～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動への期待と課題～
概要	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進を図る提案を生涯学習審議会と教育委員会が協働で行った。この提案に審議会委員として関わり、又、在住校区小学校のCSコーディネーターである発表者から報告を行い、一体的な推進を図るためにどのような人々を巻き込み、関係構築を図り、どのようなシステムを築き上げる必要があるか、討議を行う。

第4分科会	社会教育人材の育成【奈良県】
テーマ	地域に活力をうみだす社会教育人材の育成 ～社会教育委員と共に地域の活動で成長する若者たち～
概要	地域に活力をうみだすには様々な世代や立場の人たちの主体的な参加が必要である。とくに地域で人々が成長できる「社会教育」の視点をもつ人材が求められるだろう。学生がどのように地域の活動に取り組み、成長していくのか、共に活動している社会教育委員の取組内容と学生自身の声をまじえ発表する。

第5分科会	学びの場づくり【和歌山県】
テーマ	「行事」から「事業」への脱却 ～協働による「すこやか橋本 まなびの日」～
概要	和歌山県橋本市は、県内で先駆けて「橋本市の自治と協働をはぐくむ条例」を制定している。モデル事業である「すこやか橋本 まなびの日」に関する事例発表を行い、社会教育委員が「自治」と「協働」を広めることによって地域で育まれる学びの場の重要性について参加者とともに考える。

第6分科会 会場：大阪府立中之島図書館

第6分科会	図書館の活用【大阪府】
テーマ	図書館による学びづくり・つながりづくり ～住民参加の図書館づくり～
概要	図書館の活用を活性化していくためには、学びを提供し、人と人をつなぎ、まちづくりや地域の振興を図る場であることが周知される必要がある。近年、読書離れが問題視されている中、本を読むこと、学ぶこと、伝えることを通して読書がもつ魅力を再確認するとともに、人々が集う場所、つながる場所としての図書館のあり方や魅力について参加者とともに考える。

 大阪府庁咲洲庁舎 44 階 大会議室	
【最寄り駅】 Osaka Metro 南港ポートタウン線 「トレードセンター前」駅 	【最寄り駅】 南海泉北線「泉ヶ丘」駅 
 新梅田研修センター	 中之島図書館
【最寄り駅】 JR 東海道本線「大阪」駅 JR 環状線「福島」駅 Osaka Metro 御堂筋線「梅田」駅 Osaka Metro 谷町線「東梅田」駅 阪急「大阪梅田」駅 	【最寄り駅】 Osaka Metro 御堂筋線「淀屋橋」駅 京阪本線「淀屋橋」駅 京阪中之島線「大江橋」駅 京阪中之島線「なにわ橋」駅 

【主 催】

一般社団法人全国社会教育委員連合、近畿地区社会教育委員連絡協議会、大阪府教育委員会、大阪府社会教育委員連絡協議会、第 68 回全国社会教育研究大会大阪大会実行委員会

【後 援 (予定)】

文部科学省、京都府教育委員会、滋賀県教育委員会、奈良県教育委員会、兵庫県教育委員会、和歌山県教育委員会、大阪府、大阪府教育委員会、堺市、堺市教育委員会

【協賛企業・団体 (令和 8 年 4 月 1 日現在 順不同)】

- ・株式会社モンベル
- ・SMBC コンシューマーファイナンス株式会社
- ・大阪商工信用金庫
- ・株式会社プランニングキュービック
- ・グンゼ株式会社
- ・公益財団法人 大阪ユースホテル協会
- ・大容建設株式会社
- ・堺ヤクルト販売株式会社

第 68 回全国社会教育研究大会大阪大会 大会役員（案）

大会組織表 第 68 回全国社会教育研究大会大阪大会運営組織

第 68 回全国社会教育研究大会大阪大会役員	
会 長	一般社団法人全国社会教育委員連合会長
副会長	一般社団法人全国社会教育委員連合副会長（4 名）
役 員	一般社団法人全国社会教育委員連合常務理事 近畿各府県社会教育委員連絡協議会会長（4 名） 近畿各府県社会教育委員連絡協議会事務局主管課長（5 名）
監 事	奈良県社会教育委員連絡協議会会長 奈良県社会教育センター所長

第 68 回全国社会教育研究大会大阪大会実行委員会	
委 員 長	大阪府社会教育委員連絡協議会会長
副委員長	大阪府社会教育委員連絡協議会副会長（2 名）
委 員	大阪府社会教育委員連絡協議会理事（8 名）
監 事	大阪府社会教育委員連絡協議会会計監事
顧 問	大阪府社会教育委員連絡協議会前会長

第 68 回全国社会教育研究大会大阪大会実行委員会事務局 ※事務局は大阪府教育庁市町村教育室地域教育振興課内におく。	
事務局長	大阪府社会教育委員連絡協議会幹事 大阪府教育庁市町村教育室地域教育振興課課長
事務局次長	大阪府教育庁市町村教育室地域教育振興課首席指導主事
事務局員	大阪府教育庁市町村教育室地域教育振興課職員（4 名）

第 69 回全国社会教育研究大会 愛知大会

第 58 回東海北陸社会教育研究大会

開催要項〔素案〕

1 大会スローガン（案）

「愛と知から広がる、共生と未来への学び」

2 研究主題（案）

にっぽんのど真ん中から発信するこれからの社会教育

～知恵と絆で、すべての人にやさしい明日をデザインしよう～

3 開催趣旨（案）

人口構造の変化に伴い、日本社会は急激な少子化と超高齢社会の到来という大きな課題に直面しています。これに加え、AIをはじめとするデジタル化の急速な進展、さらにはグローバル化に伴う多様な文化や価値観をもつ人々との共生が求められるなど、現代社会の課題はかつてないほど複雑化・多様化しています。こうした状況の中で、誰もが安心して暮らせる持続可能な社会を築くためには、単なる制度や仕組みの整備だけでなく、人々の学びとつながりを支える社会教育の役割がますます重要になっています。社会教育は、地域に根ざした学びを通じて、個人の成長と社会の発展を両立させる力を持っています。今こそ生涯学習の理念を基盤に、地域住民が主体的に課題を解決し、互いに支え合う社会を形成するための実践が求められているのではないのでしょうか。

愛知県は、ものづくりを支える強固な産業力と、革新を生み出すイノベーションの土壌を兼ね備えた地域です。このような地域特性は、社会教育においても大きな可能性を秘めています。産業・文化・地域資源を活かした学びの場を創出することで、地域の人々が誇りを持ち、未来に向けて新たな価値を生み出す力を育むことができます。

本大会では、日本の中心にある「日本一元気のあるあいち」から、多様な実践や理論を全国の仲間と共有し、地域資源の活用や人々のウェルビーイングを高める取組などを通じて共生社会の実現に向けた新たな社会教育の可能性を探ります。急速に変化する社会において、学びを通じて人と人がつながり、地域が活性化し、誰もが笑顔で暮らせる未来を築くために私たちは今こそ知恵と力を結集する必要があります。本大会が、その第一歩となることを願っています。

4 主 催

一般社団法人全国社会教育委員連合、東海北陸社会教育委員協議会連合会
愛知県社会教育委員連絡協議会

5 後 援（予定）

文部科学省、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、岐阜県、三重県教育委員会
福井県教育委員会、石川県教育委員会、富山県教育委員会

6 期 日

令和9年10月27日（水）～29日（金）

7 会 場

ウインクあいち（名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

8 対 象

都道府県・政令指定都市・市町村社会教育委員及び社会教育関係者、社会教育関係団体、
その他生涯学習・社会教育に関心のある方

9 参加費

一人 5,000円（大会資料代）

10 大会日程（案）

【1日目】 10/27（水）					全国社会教育 委員連合理事会 13:30～14:45	都道府県・政令指定都市 社会教育委員連絡協議会 等事務局担当者会議 15:15～16:45			
【2日目】 10/28（木）		全国社会教育 委員連合総会 10:00～11:30	受付 11:30～ 12:30	全体会					情報交換会 17:30～19:30
				アトラク ション 12:30～ 12:50	開会行事 表彰式 13:00～ 14:00	記念講演 14:20～15:50	閉会 行事 16:30 終了		
【3日目】 10/29（金）	受付 9:00	分科会 9:20～11:40							

11 大会内容（案）

<10月27日（水）> 会場：中会議室

13:15 ～ 13:30	受付
13:30 ～ 14:45	全国社会教育委員連合理事会 ※関係者のみ
14:45 ～ 15:15	休憩
15:15 ～ 16:45	都道府県・政令指定都市 社会教育委員連絡協議会等事務局担当者会議 ※関係者のみ

<10月28日（木）> AM会場：中会議室 PM会場：大ホール

9:30 ～ 10:00	受付
10:00 ～ 11:30	全国社会教育委員連合総会
11:30 ～ 12:30	受付
12:30 ～ 12:50	アトラクション

13:00 ~ 14:00	開会行事（案） 1 開会のことば 2 国歌斉唱 3 主催者挨拶 4 来賓祝辞 5 歓迎のことば 6 来賓紹介・祝電披露 7 主催者紹介 8 表彰式（表彰状授与・謝辞）
（休 憩）	
14:20 ~ 15:50	記念講演 演題「 講師 氏
16:00 ~ 16:30	閉会行事 1 次期開催地挨拶（全国大会） 2 次期開催地挨拶（東海北陸大会） 3 閉会の言葉
（移 動）	
17:30 ~ 19:30	情報交換会

＜10月29日（金）＞ 会場：小ホール・大会議室

9:00 ~ 9:20	受付
9:20 ~ 11:30	分科会（発表、研究協議、まとめ）
11:30 ~ 11:40	閉会

【分科会】(案)

分科会	コーディネーター	提案(案)	会場	会場定員
① 家庭教育支援		富山県 ◆ (公募)	大会議室901	約150名
② 青少年の健全育成		岐阜県 愛知県	小ホール	約250名
③ 地域文化の振興		福井県 ◆ (公募)	大会議室902	約150名
④ 人づくり・つながり づくり・地域づくり		石川県 ◆ (公募)	大会議室1001	約150名
⑤ 社会教育委員の 役割と課題		三重県 愛知県	小ホール	約250名

※分科会会場については、参加希望者数によって変更します。

※ 問い合わせ先

愛知県社会教育委員連絡協議会事務局（愛知県教育委員会あいちの学び推進課内）

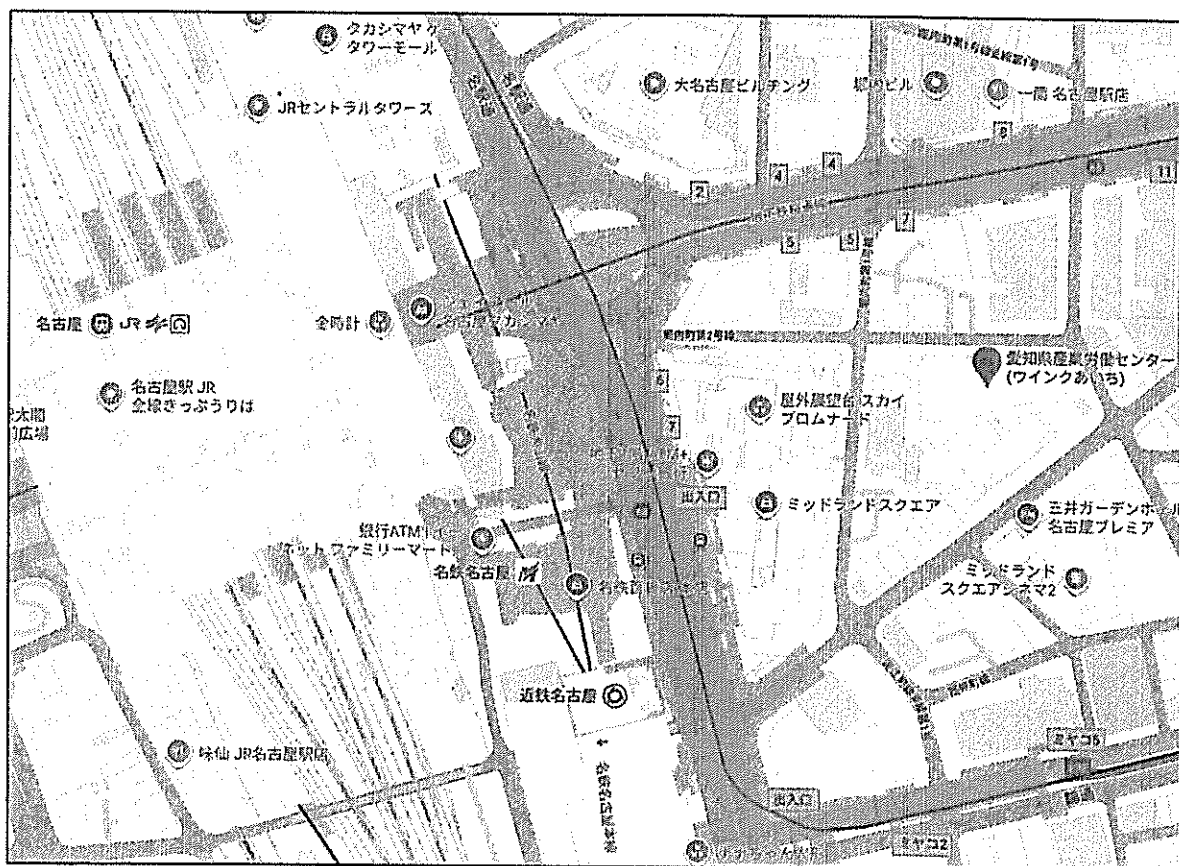
住 所 〒460-8534 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

TEL 052-954-6780（ダイヤルイン）

FAX 052-954-6962

担 当 都筑 太（メール：takashi_tsuduki@pref.aichi.lg.jp）

【会場】ウインクあいち（愛知県産業労働センター）



※アクセスについて

(JR・地下鉄・名鉄・近鉄)名古屋駅より

- JR 名古屋駅桜通口から：ミッドランドスクエア方面 徒歩5分
- ユニモール地下街 5番出口から：徒歩2分
- 名駅地下街サンロードから：ミッドランドスクエア、マルケイ観光ビル、名古屋クロスコートタワーを經由 徒歩8分
- JR 新幹線口から 徒歩9分

第70回 全国社会教育研究大会静岡大会

第59回 関東甲信越静社会教育研究大会静岡大会 について (案)

静岡県社会教育委員連絡協議会

1 期 日

令和10年10月11日(水)～10月13日(金)

2 会 場 (全体会・分科会)

静岡県コンベンションアーツセンター / グランシップ

静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3-1 (JR静岡駅⇒東静岡駅下車 徒歩3分程度)

3 参 加 者

都道府県・政令指定都市・市町村社会教育委員及び社会教育関係職員

社会教育関係者、その他生涯学習・社会教育に関心のある方 など

4 参 加 費

5,000円(参加資料代等)

5 日 程

第1日目 10月11日(水)

14:00～15:30 全国社会教育委員連合理事会

16:00～17:30 都道府県・政令指定都市社教連等事務局担当省会議

第2日目 10月12日(木)

10:00～11:00 全国社会教育委員連合総会

11:00～12:30 受付

12:30～17:00 全体会

・歓迎アトラクション

・開会行事

・記念講演

・シンポジウム

・閉会行事

18:30～20:30 情報交換会

第3日目 10月13日(金)

9:00～9:30 受付

9:30～12:00 分科会(全5分科会) 各分科会終了後解散

※ 大会スローガン、研究主題等各詳細については、今後実行委員会を立ち上げて決定する。

令和8年度第1回総会（令和8年5月22日）提案

一般社団法人全国社会教育委員連合

令和8(2026)年度 役員一覧

理 事	会 長	鈴木 眞理（学識経験を有する者）	
〃	副 会 長	大島 まな（学識経験を有する者）	※会長職務代理者
〃	〃	神山 敬章（学識経験を有する者）	※会長職務代理者
〃	〃	野崎 洋司（令和8年度全国大会／大阪府会長）	
〃	常務理事	豊田 政治（学識経験を有する者）	
〃		岩野 真志（北海道）	
〃		<u>中村 英俊</u> （東北／岩手県）	
〃		加藤 寿一（東北／秋田県）	
〃		小池 茂子（関東／神奈川県）	
〃		岩崎 哲（関東／群馬県）	
〃		天野 知子（東海北陸／岐阜県）	
〃		山口 恵照（東海北陸／三重県）	
〃		辻 敏弘（近畿／和歌山県）	
〃		田中 理絵（中・四国／山口県）	
〃		小方 直幸（中・四国／香川県）	
〃		久保ひろみ（九州／福岡県）	
〃		安部 武夫（九州／熊本県）	
〃		津田 英二（指定都市／神戸市）	
〃		出口 寿久（指定都市／札幌市）	
監 事		加藤 重義（会員・山梨県）	
〃		田中 謙二（税理士）	

第67回全国社会教育研究大会岩手大会 都道府県別参加者数

(人)

No.	都道府県名	参加者数
1	北海道	6
2	青森県	68
3	岩手県	414
4	宮城県	27
5	秋田県	71
6	山形県	42
7	福島県	25
8	茨城県	12
9	栃木県	4
10	群馬県	3
11	埼玉県	3
12	千葉県	7
13	東京都	17
14	神奈川県	1
15	新潟県	5
16	富山県	2
17	石川県	3
18	福井県	5
19	山梨県	12
20	長野県	7
21	岐阜県	3
22	静岡県	6
23	愛知県	5
24	三重県	5

No.	都道府県名	参加者数
25	滋賀県	4
26	京都府	14
27	大阪府	10
28	兵庫県	9
29	奈良県	14
30	和歌山県	5
31	鳥取県	6
32	島根県	8
33	岡山県	5
34	広島県	3
35	山口県	4
36	徳島県	3
37	香川県	2
38	愛媛県	4
39	高知県	12
40	福岡県	5
41	佐賀県	2
42	長崎県	0
43	熊本県	0
44	大分県	4
45	宮崎県	1
46	鹿児島県	2
47	沖縄県	6
合計		876

令和7年度東北地区社会教育研究大会・第70回東北地区公民館大会
(兼第71回岩手県公民館大会・令和7年度岩手県社会教育委員研究大会)

(單位：円)

項目	予算額	決算額	増減額	説 明	
参加費	2,500,000	3,170,000	670,000	@5,000円×634名	3,170,000
負担金	7,210,000	7,210,000	0	全園社会教育委員連合	700,000
				東北地区公民館連絡協議会	200,000
				東北地区社会教育委員連絡協議会	60,000
				東北各県負担金	500,000
				岩手県社会教育連絡協議会	4,500,000
				岩手県	1,000,000
				盛岡市	200,000
				岩手県生涯学習振興協会	50,000
協賛金	350,000	398,000	48,000	エコー総合補償サービス広告	300,000
				各団体・企業協賛金	98,000
雑収入	1,000	15,372	14,372	預金利息等	10,372
				県社教関係団体連絡協議会から祝い金	5,000
合計	10,061,000	10,793,372	732,372		

(單位：円)

項目	予算額	決算額	増減額	説 明	
報償費	974,000	849,950	△ 124,050	基調講演講師 【シンポジウム】 コーディネーター シンポジスト (3名) 【5分科会】 コーディネーター (5名) 事例発表者 (12名) 司会7ナウンサー・附金 (旅費含み) アトラクション (合唱、朗読、演出) 情報交換会アトラクション コンベンションサポーター	100,000 26,600 59,850 170,500 265,000 40,000 100,000 50,000 38,000
旅費	1,661,000	890,289	△ 770,711	基調講演講師 【シンポジウム】 コーディネーター シンポジスト (3名) コーディネーター (5名) 事例発表者 (12名) アトラクション旅費 来賓 文科省 実行委員旅費 (会議) 実行委員旅費 (当日) 企画会議旅費 事前打ち合わせ (シンポジウム、分科会)	24,140 61,140 121,920 52,365 213,840 21,940 45,980 46,880 152,764 23,000 126,320
需用費	821,000	802,431	△ 18,569	食糧費 大会周知チラシ【A4両面】 (2,000枚) 表彰状印刷 表彰状用筒、手提げ袋 封筒 腕章 看板製作に係る消耗品 その他消耗品 コンベンションバッグ 講師等情報交換会費 (4名分)	226,592 5,696 30,508 26,710 20,900 33,110 65,760 215,155 152,000 26,000
役務費	191,000	188,972	△ 2,028	通信費・手数料等 看板制作費 (分科会メトロの分) 席札、看板制作費 (情報交換会) 看板制作費 (アイーナ前) 表彰状部分筆耕	86,650 17,600 28,380 35,750 20,592
委託料	5,018,000	4,024,900	△ 993,100	旅行代理店委託料 開催要項 (12ページ15,000部) 発送費含む 大会冊子印刷【本文82ページ】 (1,000冊) 報告書印刷【本文92ページ】 (970冊) 発送費含む 写真撮影 (全体会) 会場設営委託	667,700 657,800 756,800 1,030,700 48,400 863,500
使用料 ・賃借料	1,339,000	1,337,628	△ 1,372	会場使用料等 附属設備 バス借上 駐車場回数券	981,618 195,710 36,300 124,000
予備費	57,000	0	△ 57,000		
繰出金	0	0	0		
合計	10,061,000	8,094,170	△ 1,966,830		

(単位：円)

収	入	総	額	10,793,372
支	出	総	額	8,094,170
差	引	残	高	2,699,202

差引残高2,699,202円については、将来本県で開催される全国社会教育研究大会および東北地区社会教育研究大会の開催準備金に繰り入れる。

今後の総会等会議の予定

○令和8年度第3回理事会及び第2回総会

・理事会

期 日 令和8(2026)年10月28日(水) 14時～15時30分

場 所 大阪府庁咲洲庁舎(予定)

(大阪市住之江区南港北1-7-1)

内 容 第69回(令和9(2027)年度)全国社会教育研究大会(愛知大会)に関する審議など

・総会

期 日 令和8(2026)年10月29日(木) 10時～11時30分

場 所 国際障害者交流センター ビッグ・アイ

(堺市南区茶山台1-8-1)

内 容 第69回(令和9(2027)年度)全国社会教育研究大会(愛知大会)に関する審議など

○都道府県・政令指定都市社会教育委員連絡協議会等事務局担当者会議

期 日 令和8(2026)年10月28日(水) 16時～17時30分

場 所 大阪府庁咲洲庁舎(予定)

(大阪市住之江区南港北1-7-1)

内 容 検討中

8

○令和7年度第4回理事会及び第3回総会

・理事会

期 日 令和9年2月下旬の午前

場 所 日本弘道会ビル 8階 講堂 (千代田区西神田3-1-6)

内 容 令和8年度事業計画及び収支予算(案)、第69回(令和9(2027)年度)全国社会教育研究大会(愛知大会)に関する審議など

・総会

期 日 令和9年2月下旬の午後

場 所 日本弘道会ビル 8階 講堂 (千代田区西神田3-1-6)

内 容 令和8年度事業計画及び収支予算(案)、第69回(令和9(2027)年度)全国社会教育研究大会(愛知大会)に関する審議など

全国社会教育研究大会開催地一覧（第31回(平成元年度)以降）

回	年 度	ブロック	開 催 地	主 会 場	期 日
31	平成元年度	東海・北陸	福 井 県	坂井北部農業者健康会館	10月18日～20日
32	〃 2年度	北 海 道	北 海 道	旭川市民文化ホール	9月5日～7日
33	〃 3年度	中国・四国	高 知 県	高知県民文化ホール	10月16日～18日
34	〃 4年度	関 東	千 葉 県	千葉県文化会館	11月11日～13日
35	〃 5年度	九 州	佐 賀 県	佐賀市文化会館	11月13日～15日
36	〃 6年度	東 北	岩 手 県	岩手県民会館	10月4日～6日
37	〃 7年度	近 畿	和 歌 山 県	和歌山県民文化会館	11月8日～10日
38	〃 8年度	関 東	茨 城 県	県立県民文化センター	10月23日～25日
39	〃 9年度	北 海 道	北 海 道	釧路市観光国際交流センター	10月1日～3日
40	〃 10年度	東海・北陸	岐 阜 県	長良川国際会議場	10月21日～23日
41	〃 11年度	中国・四国	鳥 取 県	米子コンベンションセンター	10月13日～15日
42	〃 12年度	関 東	栃 木 県	宇都宮市文化会館	10月18日～20日
43	〃 13年度	九 州	沖 縄 県	沖縄県立武道館	10月31日～11月2日
44	〃 14年度	東 北	秋 田 県	秋田県民会館	10月9日～11日
45	〃 15年度	近 畿	奈 良 県	なら100年会館	10月8日～10日
46	〃 16年度	関 東	群 馬 県	群馬県民会館	10月27日～29日
47	〃 17年度	北 海 道	北 海 道	帯広市民文化ホール	10月26日～28日
48	〃 18年度	東海・北陸	富 山 県	富山県民会館	10月18日～20日
49	〃 19年度	中国・四国	香 川 県	サンポートホール高松	10月24日～26日
50	〃 20年度	関 東	長 野 県	長野県県民文化会館	10月29日～31日
51	〃 21年度	九 州	熊 本 県	崇城大学市民ホール	10月28日～30日
52	〃 22年度	東 北	福 島 県	郡山ユラックス熱海	10月27日～29日
53	〃 23年度	近 畿	京 都 府	京都会館ほか	9月20日～22日
54	〃 24年度	関 東	山 梨 県	甲府市総合市民会館	10月24日～26日
55	〃 25年度	東海・北陸	三 重 県	三重県営サンアリーナほか	10月23日～25日
56	〃 26年度	中国・四国	徳 島 県	アスティとくしま	10月22日～24日
57	〃 27年度	九 州	大 分 県	ホルトホール大分	10月7日～9日
58	〃 28年度	関 東	千 葉 県	千葉県文化会館	10月26日～28日
59	〃 29年度	北 海 道	北 海 道	札幌コンベンションセンター	9月11日～13日
60	〃 30年度	東 北	青 森 県	青森市文化会館	10月24日～26日
61	令和元年度	近 畿	兵 庫 県	神戸ポートピアホテル	10月23日～25日
62	〃 2年度	関 東	新 潟 県	シティホールプラザアオーレ長岡	11月12日
63	〃 3年度	東海・北陸	石 川 県	こまつ芸術劇場	10月28日
64	〃 4年度	中国・四国	広 島 県	広島国際会議場	10月26日～28日
65	〃 5年度	九 州	宮 崎 県	宮崎市民文化ホール	11月8日～10日
66	〃 6年度	関 東	茨 城 県	水戸市民会館	10月23日～25日
67	〃 7年度	東 北	岩 手 県	盛岡市民文化ホール（マリオス）	10月29日～31日
68	〃 8年度	近 畿	大 阪 府	国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）	10月28日～30日
69	〃 9年度	東海・北陸	愛 知 県	ウインクあいち	10月27日～29日
70	〃 10年度	関東甲信越静	静 岡 県	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ	10月11日～13日

地区別社会教育研究大会開催地一覧（平成元年度以降）

年 度	北海道	東 北	関東甲信越静	東海北陸	近 畿	中国・四国	九 州
平成元年度	岩見沢市	秋田県	長 野 県	福 井 県	大阪府	香 川 県	熊本県
〃 2 年度	旭川市	宮城県	茨 城 県	石 川 県	和歌山県	鳥 取 県	宮崎県
〃 3 年度	江差町	岩手県	栃 木 県	三 重 県	奈良県	高 知 県	大分県
〃 4 年度	網走市	福島県	山 梨 県	岐 阜 県	京都府	岡 山 県	福岡県
〃 5 年度	留寿都村	山形県	神奈川県	愛 知 県	滋賀県	愛 媛 県	佐賀県
〃 6 年度	滝川市	岩手県	群 馬 県	富 山 県	兵庫県	島 根 県	長崎県
〃 7 年度	羽幌町	青森県	千 葉 県	岐 阜 県	和歌山県	広 島 県	鹿児島県
〃 8 年度	浦河町	秋田県	新 潟 県	石 川 県	大阪府	徳 島 県	沖縄県
〃 9 年度	釧路市	宮城県	静 岡 県	三 重 県	奈良県	山 口 県	熊本県
〃 10年度	千歳市	山形県	埼 玉 県	岐 阜 県	京都府	香 川 県	宮崎県
〃 11年度	稚内市	福島県	長 野 県	福 井 県	滋賀県	鳥 取 県	大分県
〃 12年度	伊達市	青森県	栃 木 県	愛 知 県	兵庫県	高 知 県	福岡県
〃 13年度	紋別市	福島県	茨 城 県	富 山 県	和歌山県	岡 山 県	沖縄県
〃 14年度	士別市	秋田県	山 梨 県	石 川 県	大阪府	愛 媛 県	佐賀県
〃 15年度	小樽市	岩手県	神奈川県	三 重 県	奈良県	島 根 県	熊本県
〃 16年度	七飯町	山形県	群 馬 県	福 井 県	京都府	広 島 県	長崎県
〃 17年度	帯広市	宮城県	千 葉 県	岐 阜 県	滋賀県	徳 島 県	鹿児島県
〃 18年度	北見市	青森県	新 潟 県	富 山 県	兵庫県	山 口 県	宮崎県
〃 19年度	芦別市	岩手県	静 岡 県	愛 知 県	和歌山県	香 川 県	大分県
〃 20年度	羽幌町	秋田県	長 野 県	石 川 県	大阪府	鳥 取 県	福岡県
〃 21年度	江差町	山形県	埼 玉 県	三 重 県	奈良県	高 知 県	熊本県
〃 22年度	釧路市	福島県	東 京 都	福 井 県	滋賀県	岡 山 県	佐賀県
〃 23年度	恵庭市	宮城県	茨 城 県	岐 阜 県	京都府	愛 媛 県	沖縄県
〃 24年度	登別市	青森県	山 梨 県	富 山 県	兵庫県	島 根 県	宮崎県
〃 25年度	根室市	岩手県	栃 木 県	三 重 県	和歌山県	広 島 県	長崎県
〃 26年度	稚内市	秋田県	神奈川県	石 川 県	大阪府	徳 島 県	鹿児島県
〃 27年度	浦河町	山形県	群 馬 県	愛 知 県	奈良県	山 口 県	大分県
〃 28年度	富良野市	福島県	千 葉 県	福 井 県	滋賀県	香 川 県	福岡県
〃 29年度	札幌市	宮城県	静 岡 県	富 山 県	京都府	鳥 取 県	宮崎県
〃 30年度	留寿都村	青森県	長 野 県	岐 阜 県	和歌山県	高 知 県	熊本県
令和元年度	帯広市	岩手県	埼 玉 県	三 重 県	兵庫県	岡 山 県	佐賀県
〃 2 年度	(中止)	秋田県 (中止・記念誌)	新 潟 県	(中止)	(延期)	(延期)	沖縄県
〃 3 年度	(誌上開催)	山形県	東 京 都	石 川 県	大阪府	愛 媛 県	長崎県
〃 4 年度	オンライン (拠点：羽幌町)	福島県	山 梨 県	愛 知 県	奈良県	広 島 県	大分県
〃 5 年度	オンライン (拠点：長沼町)	宮城県	栃 木 県	福 井 県	滋賀県	島 根 県	宮崎県
〃 6 年度	網走市	青森県	茨 城 県	富 山 県	京都府	徳 島 県	鹿児島県
〃 7 年度	檜山町	岩手県	神奈川県	岐 阜 県	和歌山県 (中止)	山 口 県	福岡県
〃 8 年度	稚内市	秋田県	群馬県	三 重 県	大阪府	香川県	熊本県
〃 9 年度	北広島市	山形県	千 葉 県	愛 知 県	奈良県	鳥取県	佐賀県

令和8年2月20日
第3回総会にて提示

全国大会ローテーション表（案）

1 各地区別構成

- ・北海道地区（1）
- ・東北地区（6）
- ・関東甲信越静地区（11）
- ・東海北陸地区（6）
- ・近畿地区（6）
- ・中国四国地区（9）
- ・九州地区（8）

2 ローテーション（案）

- ・北海道は12年に1度
- ・関東甲信越静地区は中3年あける

令和 元(2019)年	近畿地区	(兵庫県)
2(2020)年	関東甲信越静地区	(新潟県)
3(2021)年	東海北陸地区	(石川県)
4(2022)年	中国四国地区	(広島県)
5(2023)年	九州地区	(宮崎県)
6(2024)年	関東甲信越静地区	(茨城県)
7(2025)年	東北地区	(岩手県)
8(2026)年	近畿地区	(大阪府)
9(2027)年	東海北陸	(愛知県)
10(2028)年	関東甲信越静地区	(静岡県)
11(2029)年	北海道地区	
12(2030)年	中国・四国地区	
13(2031)年	九州地区	
14(2032)年	関東甲信越静地区	
15(2033)年	東北地区	
16(2034)年	近畿地区	

令和7年10月総会で決定

→ ここまで令和3(2021)年第3回総会に提示

令和8年第3回総会に新たに提示

令和8（2026）年度副会長の選定

1 令和8（2026）年度の理事・監事一覧

理 事	鈴木 眞理（学識経験を有する者）
//	大島 まな（学識経験を有する者）
//	神山 敬章（学識経験を有する者）
//	豊田 政治（学識経験を有する者）
//	岩野 真志（北海道）
//	<u>中村 英俊</u> （東北／岩手県）
//	加藤 寿一（東北／秋田県）
//	小池 茂子（関東／神奈川県）
//	岩崎 哲（関東／群馬県）
//	天野 知子（東海北陸／岐阜県）
//	山口 恵照（東海北陸／三重県）
//	辻 敏弘（近畿／和歌山県）
//	野崎 洋司（近畿／大阪府）
//	田中 理絵（中・四国／山口県）
//	小方 直幸（中・四国／香川県）
//	久保ひろみ（九州／福岡県）
//	安部 武夫（九州／熊本県）
//	津田 英二（指定都市／神戸市）
//	出口 寿久（指定都市／札幌市）
監 事	加藤 重義（会員・山梨県）
//	田中 謙二（税理士）

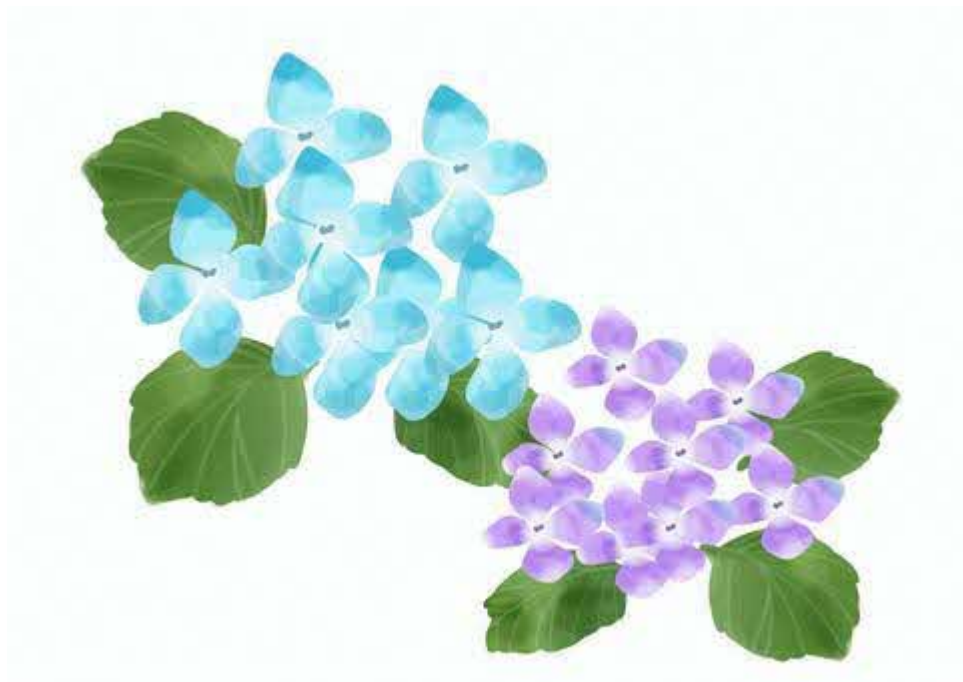
2 令和8（2026）年度副会長の選定

会 長	鈴木 眞理（学識経験を有する者）	
副 会 長	神山 敬章（学識経験を有する者）	
//	大島 まな（学識経験を有する者）	
//	<u>中村 英俊</u> （令和7年度全国大会／岩手県会長）	新任
//	野崎 洋司（令和8年度全国大会／大阪府会長）	
常務理事	豊田 政治（学識経験を有する者）	

令和8年度

関東甲信越静社会教育委員連絡協議会

第1回理事会



日時：令和8年6月5日（金）

14時00分～16時00分

場所：日本弘道会ビル 8階 講堂

令和8年度関東甲信越静社会教育委員連絡協議会 第1回理事会次第

日時：令和8年6月5日（金） 14:00～16:00

会場：日本弘道会ビル 8階 講堂

- 1 開会 関東甲信越静社会教育委員連絡協議会 副会長 小池 茂子
(神奈川県社会教育委員連絡協議会 会長)
- 2 あいさつ
主催者 関東甲信越静社会教育委員連絡協議会 会長代理 佐藤 忍
(群馬県社会教育委員連絡協議会 副会長)
ご来賓 一般社団法人 全国社会教育委員連合 会長 鈴木 眞理 様
一般社団法人 全国社会教育委員連合 常務理事・事務局長 豊田 政治 様
- 3 来賓紹介
一般社団法人 全国社会教育委員連合 会長 鈴木 眞理 様
一般社団法人 全国社会教育委員連合 常務理事・事務局長 豊田 政治 様
- 4 自己紹介
- 5 議事
 - (1) 第57回関東甲信越静社会教育研究大会群馬大会について
 - (2) 第58回関東甲信越静社会教育研究大会千葉大会について
 - (3) 第70回全国社会教育研究大会静岡大会（第59回関東甲信越静社会教育研究大会静岡大会）について
 - (4) 関東甲信越静社会教育研究大会分科会事例発表都県市ローテーションについて
 - (5) 全国大会・関ブロ大会の開催ローテーションについて
 - (6) その他
 - ①令和8年度関東甲信越静社会教育委員連絡協議会事務局一覧表について
 - ②その他
- 6 連絡
 - (1) 令和8年度関東甲信越静社会教育委員連絡協議会第2回理事会について
令和9年3月上旬を予定（全国社会教育委員連合理事会・総会のおよそ1週間後を目途に開催予定）
- 7 閉会 関東甲信越静社会教育委員連絡協議会 副会長代理 鈴木 正一郎
(千葉県社会教育委員連絡協議会 副会長)

関東甲信越静社会教育委員連絡協議会 規約

(名称)

第 1 条 本会は、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会と称し、事務局を関東甲信越静社会教育研究大会の開催都県に置く。

(目的)

第 2 条 本会は、社会教育委員相互の連携を図り、社会教育の振興に資することを目的とする。

(事業)

第 3 条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- 1 関東甲信越静社会教育研究大会の開催に関すること。
- 2 その他本会の目的達成に必要な事項に関すること。

(組織)

第 4 条 本会は、関東甲信越静地区の 11 都県および東京都市町村の社会教育委員連絡協議会等、ならびに政令指定都市の社会教育委員の会議等をもって構成する。

(役員)

第 5 条 本会には役員を置き、役員の任期は 1 年とする。

- 1 会長（1 名）は、大会開催都県の社会教育委員連絡協議会等会長をもってこれに充て、本会を代表し、会務を統括する。
- 2 副会長（2 名）は、前期開催都県と次期開催都県の社会教育委員連絡協議会等会長をもってこれに充て、会長を補佐し、会長に事故あるときはその任務を代行する。
- 3 理事は、各都県・東京都市町村の社会教育委員連絡協議会等および政令指定都市の社会教育委員の会議等の会長等、ならびにそれらの事務局長等をもって構成する。

(会議)

第 6 条 本会の会議は理事会と称し、年 1 回以上開催する。

- 1 理事会は、本会の運営および事業について協議し、決定する。
- 2 理事会は会長が招集し、出席者の過半数によって決定する。
- 3 理事会は各理事の代理出席を認めるものとし、その場合はその旨を理事会に報告する。

(附則)

この規約は、平成 3 年 2 月 28 日から施行する。

この規約は、平成 8 年 10 月 19 日から施行する。

この規約は、平成 15 年 3 月 12 日から施行する。

この規約は、平成 16 年 3 月 12 日から施行する。

この規約は、平成 27 年 3 月 17 日から施行する。

令和8年度関東甲信越静社会教育委員連絡協議会 役員名簿 (敬称略)

令和8年5月現在

役 職	氏 名	団 体 名
会 長	岩崎 哲	群馬県社会教育委員連絡協議会
副会長	小池 茂子	神奈川県社会教育委員連絡協議会
	二宮 義文	千葉県社会教育委員連絡協議会
	稲葉 里子	茨城県社会教育委員連絡協議会
	佐竹 信哉	栃木県社会教育委員協議会
	中根 將行	埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会
	二宮 義文	千葉県社会教育委員連絡協議会
	笹井 宏益	東京都生涯学習審議会委員連絡協議会
	生尾 光	東京都市町村社会教育委員連絡協議会
	山田 智之	新潟県社会教育委員連絡協議会
	加藤 重義	山梨県社会教育委員連絡協議会
	羽田 吉彦	長野県社会教育委員連絡協議会
	中畠 るり子	静岡県社会教育委員連絡協議会
	梶野 光信	さいたま市社会教育委員会議
	改選中	千葉市社会教育委員会議
	牧野 篤	横浜市社会教育委員会議
	改選中	川崎市社会教育委員会議
	秦野 玲子	相模原市社会教育委員会議
	改選中	静岡市社会教育委員会議
	山本 巖	浜松市社会教育委員会
	佐藤 裕紀	新潟市社会教育委員会議

第57回関東甲信越静社会教育研究大会群馬大会

令和8年度群馬県社会教育研究大会

開催要項(案)

1 大会スローガン

はばたけ未来へ 力あわせる社会教育
～つる舞う形の ぐんま から～

2 研究主題

学びから生まれるつながりやかかわりあいを通じたウェルビーイングの実現に向けて
～社会教育委員の積極的な関わりを通して～

3 開催趣旨

グローバル化や情報化、少子高齢化など社会が急激に変化する現在、これまでのような経済的な豊かさだけでなく、精神的にも豊かで、多様な個人がそれぞれ幸せであるとともに、社会全体も幸せである「ウェルビーイング（Well-being）」の理念の実現を目指すことが求められています。ウェルビーイングの実現に向け、生涯にわたる学びを通じて人づくり・つながりづくり・地域づくりを目指す社会教育が果たす役割は、これまで以上に大きいと考えます。

社会教育を推進していく上で何より大切なことは人と人とのふれあいです。一人一人の住民が人の温かみに触れ、それを自分だけのものとせず、地域全体に循環していく社会を目指していきたいと思います。人と人との「かかわりあい」の価値を再認識し、学びの場を通じて地域住民の「つながり」をつくり、社会教育委員のリーダーシップのもと、ウェルビーイングを実現するための方策について研究協議することを趣旨とします。

4 期 日

令和8年11月19日（木）・20日（金）

5 会 場

Gメッセ群馬（〒370-0044 群馬県高崎市岩押町12-24）
※1日目 全体会（Gメッセ群馬 メインホール）
2日目 分科会（Gメッセ群馬 中会議室）

6 参加対象

関東甲信越静各都県・区市町村社会教育委員及び社会教育関係者、社会教育関係団体関係者、社会教育・生涯学習に関心のある者 等

7 主催・共催

一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、
第57回関東甲信越静社会教育研究大会群馬大会実行委員会、群馬県社会教育委員連絡協議会
群馬県教育委員会

8 後援(予定)

群馬県、群馬県市町村教育委員会連絡協議会 その他報道関係等 予定

9 参加費

4,000円（学生 2,000円）

10 日程(予定)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00			
1日目 11月19日 (木) 【全体会】					受付	ツームぐんま 見学	アトラクション (吹奏楽演奏)	開会行事	休憩	記念講演	閉会行事	分科会打合せ		情報交換会
						受付								
2日目 11月20日 (金) 【分科会】		受付	(5分科会)	分科会 △分科会△ とに閉会										

11 内容(予定)

11月19日(木) 【全体会】

- 13:00～13:30 TUMO Gunma (ツームぐんま) 見学 (見学希望者 抽選50名)
- 13:45～14:05 アトラクション ・東京農業大学第二高等学校 吹奏楽部 演奏
- 14:15～14:55 開会行事 ・主催者あいさつ 群馬大会実行委員長
全国社会教育連合会長
群馬県教育委員会教育長
・祝辞 群馬県知事
・歓迎のことば 高崎市長
・各種表彰式
- 15:05～16:15 記念講演 ・「挑戦する勇氣 ～背中を押してくれた大切な人の言葉～」
落語家、ぐんま特使 林家 つる子 氏
- 16:20～16:30 閉会行事 ・次期関東甲信越静社会教育研究大会開催県あいさつ (千葉県)
・閉会のことば

11月19日(木) 【情報交換会】

時 間 18:00～20:00
場 所 エテルナ高崎 (高崎駅から徒歩5分)
〒370-0841 群馬県高崎市栄町 22-30
参加費 7,000円 (税込)

第1分科会	
テーマ	<地域の教育力向上に向けた取組> 地域社会とのつながりが希薄化する中、ウェルビーイングの実現に向けた学びや人づくりによる地域力の向上について考える。
助言者	共愛学園前橋国際大学 学長 大森 昭夫 氏
事例発表者	内容
【静岡県静岡市】 静岡市社会教育委員 未確定	地域全体で子どもたちの成長を支えるために 事例発表の概要 学校支援、放課後の居場所づくりなど、学校と地域の連携・協働活動を推進する人材を育成するため、「“学校・地域”ひとつなぎコーディネーター養成講座」を実施しています。講座の内容や、地域学校協働活動の体制強化に向けた取組について紹介します。
【群馬県伊勢崎市】 伊勢崎市社会教育委員会議 議長 栗原 ウメ子 氏	地域で子どもを育てる～社会教育で子どもたちに豊かな体験を～ 事例発表の概要 伊勢崎市社会教育委員会では、事務局から「社会教育で子どもを育てるには何が必要か」という課題の検討を依頼され、「地域で子どもを育てる」を主題として話し合いを進めてきました。今回の発表では、調査による実態把握から議論のまとめに至るまでの一連の活動についてご紹介いたします。

第2分科会	
テーマ	<青少年教育と地域づくり> 青少年を取り巻く社会環境が変化する中、体験活動等を通じた、青少年教育の取組が地域づくりにも繋がっていくことについて考える。
助言者	高崎商科大学 特任教授 熊倉 浩靖 氏
事例発表者	内容
【千葉県千葉市】 公益財団法人千葉市教育振興財団 千葉市土気公民館 儘田 奈美 氏	子どもたちの「やりたい!」を公民館運営に活かす!『子ども館長プロジェクト』 事例発表の概要 千葉市土気公民館では令和6年度から「誰もが集い・学び・楽しめる公民館」にすることを目的に『子ども館長プロジェクト』に取り組んでいます。小学生 10名程が、1年間を通して月に1回公民館に集まり、子ども館長会議・公民館サークルと交流・体験活動を重ねています。
【群馬県藤岡市】 藤岡市社会教育委員会議 委員 山口 暁 氏	伝統芸能の伝承を通じた地域づくり～藤岡神田獅子舞の取り組みから～ 事例発表の概要 地域における伝統芸能の継承が、どのような社会教育的な意義をもち、またそれが青少年教育と地域づくりに結びついているかを藤岡神田獅子舞を事例とし、取り組みを紹介する。

第3分科会	
テーマ	<今後求められる社会教育委員の役割> 社会が急激に変化する中、地域社会におけるウェルビーイングの実現のために重要な役割を果たす社会教育委員の積極的な関わりについて考える。
助言者	群馬大学大学院教育学研究科 教授 音山 若穂 氏
事例発表者	内容
【山梨県】 上野原市教育委員会 社会教育課 社会教育委員の会議 ①上野原市社会教育委員の会議 議長 加藤 重義 氏 ②上野原市社会教育委員の会議 副議長 林 滋 氏	人生100年時代を支える社会教育とウェルビーイング 事例発表の概要 社会教育委員は、住民のウェルビーイングを実現するために、地域社会にどのように関わっていくべきか。委員自身が積極的に地域行事などを調査し、またそこに参加することで、住民の学びと地域課題の解決をつなぎ、住民主体の活動を引き出す役割を果たすための提言をまとめた。

③上野原市社会教育委員の 会議 委員 古屋 久 氏	
④上野原市教育委員会 社会 教育課主幹 安藤 哲也 氏	
【群馬県嬭恋村】 嬭恋村社会教育委員会 議長 高丸 和江 氏	対話と学びを通して考える社会教育委員の役割
	事例発表の概要 会議のマンネリ化や知識不足を課題に、公民館長との意見交換会、アンケート、勉強会、議会議長や行政との対話を重ねてきた。今後は子育て世代の声も聴き、暮らしやすさにつながる活動を進めたい。

第4分科会	
テーマ	＜地域資源を生かした次世代へのつながりづくり＞ 地域における人口減少が進む中、人と人の「かかわりあい」を促進し、次世代へのつながりを生み出していく地域資源を生かした活動について考える。
助言者	埼玉工業大学人間社会学部 教授 茂木 勇 氏
事例発表者	内容
【東京都】 東京都市町村社会教育委員連 絡協議会、調布市社会教育委員 の会議 議長 篠崎 光正 氏	地域資源を生かした市民参加型演劇の取組について
	事例発表の概要 調布市社会教育委員の会議では、令和7年度東京市町村社会教育連絡協議会ブロック研修会において、社会教育の問題を考えていく手段として、市民から出演者とスタッフを公募した演劇を実施した。地域資源を活用して実施した社会教育劇上演までの取組を紹介する。
【群馬県伊沼田市】 沼田市社会教育委員の会議 委員長 小林 昭紀 氏	地域資源を生かした次世代へのつながりづくり
	事例発表の概要 少子化や核家族化が急激に進む中、地域では担い手不足が深刻な課題となっている。そのため本市では、子どもたちの発達段階に応じ、地域資源を生かした育成事業を展開している。子どもたちが地域を知り、誇りや愛着を持ち、次の世代の担い手となることが期待される取組について紹介する。

第5分科会	
テーマ	＜地域と学校の連携・協働＞ 学校と地域を取り巻く課題が複雑化、多様化する中、「学校を核とした地域づくり」の視点のもと、地域と学校が連携・協働した取組について考える。
助言者	館林市教育委員会（コミュニティスクールディレクター） 酒井 一好 氏
事例発表者	内容
【静岡県】 静岡県社会教育連絡協議会、川 根本町社会教育委員会 川根本町地域学校協働活動推 進員 植田 直美 氏	学校と地域を繋ぐコミュニティ・スクール
	事例発表の概要 当町では、0～18 歳までの一貫したシームレスなコミュニティ・スクールをめざして、地域と学校が一体となり、川根本町ならではの特色ある教育を推進することを教育大綱に盛り込み、町全体をコミュニティと捉えた活動を行っています。
【群馬県千代田町】 千代田町社会教育委員会 委員長 柿沼 正博 氏	チャレンジ手帳に関する取り組みと今後の展望について
	事例発表の概要 チャレンジ手帳の10年間の取り組みと子どもたちの成長の変化を振り返るとともに、キャリアパスポートとの融合や社会教育を評価する仕組みとしての今後の展望について発表する。

令和9年度第58回関東甲信越静社会教育研究大会 千葉大会概要（案）

- 1 大会スローガン 地域とともに未来を創る～房総の風が育む学びの輪～
- 2 研究主題 地域で広げる人づくりとウェルビーイング
- 3 趣 旨 未定
- 4 開催日 令和9年11月18日（木）・19日（金）
- 5 主催/共催（予定）
第58回関東甲信越静社会教育研究大会千葉大会実行委員会、千葉県社会教育委員連絡協議会、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、一般社団法人全国社会教育委員連合、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会
- 6 参加対象
 - ・ 関東甲信越静各市区町村社会教育委員及び事務局関係者
 - ・ 同地区の社会教育関係団体会員、社会教育施設職員等社会教育関係者
 - ・ 同地区の地域住民、NPO法人、社会教育士、学校関係等生涯学習・社会教育に関心のある方
- 7 開催地（千葉市）

【1日目（全体会）】青葉の森公園芸術文化ホール（ホール）
〒260-0852 千葉県千葉市中央区青葉町 977-1

【2日目（分科会）】未定
- 8 参加費 4,000 円（参加資料代等）

9 日程（予定）

日	9	10	11	12	1	2	3	4	5		
第 1 日目 11月18日(木)				受付	ア トラ ク シ ョ ン	開 会 行 事	記 念 講 演	休 憩	シン ポ ジ ウ ム	閉 会 行 事	分 科 会 打 合 せ
第 2 日目 11月19日(金)	受付	分 科 会		閉 会 ・ 解 散	※受付時間開始予定 第1日目 11:40～ 第2日目 9:00～						

10 大会内容

○第1日目（全体会）

・アトラクション ・開会行事 ・記念講演 ・シンポジウム ・閉会行事

○第2日目（分科会）

5分科会

	分科会名	発表市町村
第1分科会	地域の教育力の再生	市原市
第2分科会	社会教育施設との連携	千葉市
第3分科会	学校教育との連携	南房総市 (安房地区)
第4分科会	検討中	いすみ市 (夷隅地区)
第5分科会	青少年教育	袖ヶ浦市 (君津地区)

※5分科会を予定。各分科会2事例（千葉県以外から1事例＋千葉県から1事例）

※千葉県以外からの1事例については、公募を行う。事例発表希望が5事例に満たない場合には、未確定枠の発表をローテーションにより依頼する。

第70回 全国社会教育研究大会静岡大会

第59回 関東甲信越静社会教育研究大会静岡大会 について (案)

静岡県社会教育委員連絡協議会

1 期 日

令和10年10月11日(水)～10月13日(金)

2 会 場 (全体会・分科会)

静岡県コンベンションアーツセンター / グランシップ

静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3-1 (JR静岡駅⇒東静岡駅下車 徒歩3分程度)

3 参 加 者

都道府県・政令指定都市・市町村社会教育委員及び社会教育関係職員
社会教育関係者、その他生涯学習・社会教育に関心のある方 など

4 参 加 費

5,000円(参加資料代等)

5 日 程

第1日目 10月11日(水)

14:00～15:30 全国社会教育委員連合理事会

16:00～17:30 都道府県・政令指定都市社教連等事務局担当者会議

第2日目 10月12日(木)

10:00～11:00 全国社会教育委員連合総会

11:00～12:30 受付

12:30～17:00 全体会

・歓迎アトラクション

・開会行事

・記念講演

・シンポジウム

・閉会行事

18:30～20:30 情報交換会

第3日目 10月13日(金)

9:00～9:30 受付

9:30～12:00 分科会(全5分科会) 各分科会終了後解散

※ 大会スローガン、研究主題等各詳細については、今後実行委員会を立ち上げて決定する。

関東甲信越静社会教育研究大会 開催都県及び分科会事例発表都県市ローテーションについて

1 関東甲信越静社会教育研究大会の開催都県について（平成27年度確認）

- （1）開催年度の3年前の3月までに関ブロ理事会で正式決定する。
- （2）開催都県の順番は、関ブロ理事会で定めた「基本ローテーション（ハ）」により決定するが、全国大会（関ブロ大会と同時開催）の開催間隔（前回開催からの経過年数）を考慮し、一部開催順序を入れ替える。
- （3）全国大会の開催都県（ロ）は、平成27年度確認により、千葉県を起点とした基本ローテーション（イ）を定め、関ブロ大会の開催間隔を踏まえ、開催順序を適宜入れ替え決定する。

2 分科会事例発表都県市ローテーションについて（平成22年度～ 随時確認）

- （1）事例発表と県の順番は、大会開催順を基本とする。
ただし、前年に大会を開催した都県は、原則として事例発表から除く。
- （2）政令指定都市の順番は、（上記）を原則とする。
- （3）原則として、政令指定都市は事例発表の1枠を担当し、残りの数が都県の担当となる。
- （4）都県順番
①埼玉県 ②長野県 ③東京都 ④茨城県 ⑤栃木県 ⑥山梨県 ⑦神奈川県
⑧群馬県 ⑨千葉県 ⑩新潟県 ⑪静岡県 ⑫政令指定都市
- （5）政令指定都市内順番
①千葉市 ②横浜市 ③さいたま市 ④川崎市 ⑤静岡市 ⑥新潟市 ⑦浜松市
⑧相模原市

3 平成29年度第2回理事会までに出された意見

分科会の発表をローテーションとしているが、各都県の自発的な応募（公募）を望む。
一方で、ローテーションを廃止してしまうと、公募が一定数集まらない場合、大会実施が困難になる。

4 平成30年度第1回理事会での確認事項

- （1）公募かローテーションで行くかは、開催都県市の分科会構想に委ねる。その方向は、開催前年度の第1回理事会までに提案する。
- （2）ローテーションの場合は、別紙事例発表候補都県市ローテーション表（案）による。また、公募の場合も分科会の事例発表数に足りない場合は、ローテーション表により、依頼する。
- （3）公募の場合もローテーション表の場合も、ローテーション表に反映させる。

5 令和4年度第1回理事会での確認事項

- (1) ローテーション表に従えば、令和4年度の事例発表は、横浜市が順番1位であったが、横浜市より発表が難しいという申し出があり、横浜市とさいたま市の相談の結果、さいたま市が発表することとした。
- (2) 令和5年度の実例発表都県市ローテーションについては、再度、横浜市を順番1位とする。
- (3) なお、政令指定都市内順番については、さいたま市が発表を終えているため、横浜市の次は川崎市とする。

関東甲信越静社会教育研究大会 分科会事例発表候補都県市ローテーション(案)

資料4-3

- (1) 事例発表と県の順番は、大会開催順を基本とする。ただし、前年に大会を開催した都県は、原則として事例発表から除く。(平成22年度大会より)
 (2) 政令指定都市の順番は、(5)を原則とする。(平成22年度大会より)
 (3) 原則として、政令指定都市は事例発表の1枠を担当し、残りの数が都県の担当となる。
 (4) 都県順番
 ①埼玉県 ②長野県 ③東京都 ④茨城県 ⑤栃木県 ⑥山梨県 ⑦神奈川県 ⑧群馬県 ⑨千葉県 ⑩新潟県 ⑪静岡県 ⑫政令指定都市
 (5) 政令指定都市内順番
 ①千葉市 ②横浜市 ③さいたま市 ④川崎市 ⑤静岡市 ⑥新潟市 ⑦浜松市 ⑧相模原市

回	年度	開催都県	基本	全国	分科会数	公募	埼玉	長野	東京	茨城	栃木	山梨	神奈川	群馬県	千葉	新潟	静岡	政令市	備考
45	26	神奈川			5+2(特別)		⑦	⑧	⑨	④	／	⑩	○	⑤	⑥	—	③	①静岡 ②新潟	
46	27	群馬			5		7	8	9	5	④	10	／	○	6	③	②	①浜松	
47	28	千葉		○	5		○	○	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	
48	29	静岡	(新潟)		5		8	9	③	②	10	④	5	6	／	7	○	①相模原	
49	30	長野	(静岡)		5	○	7	／	8	9	②	10	3	4	⑤	6	／	①千葉 ○新潟	
50	元	埼玉			2+3(発表なし)	○	○	／	6	7	9	8	②	3	⑩	4	5	1横浜	
51	2	新潟	(長野)	○	5	○	／	⑨	4	5	7	6	10	2	8	○	③	1横浜	
52	3	東京			3+2(発表なし)		8	10	○	③	5	④	7	②	6	／	9	1横浜	左図のとおり事例発表を行う予定で準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、1日開催に変更となり、分科会の実施がなくなったため、ローテーション表を使用しておりません。次年度は、東京大会でローテーション表を使用していないことを踏まえたものとなっております。
53	4	山梨	(茨城)		5		7	9	／	③	④	○	6	②	5	10	8	①さいたま市	横浜市より事例発表が難しいという申し出があったため、横浜市とさいたま市で相談していただいた結果、さいたま市に発表していただくことになりました。山梨大会の翌年度のローテーションは、再度、横浜市から始まります。
54	5	栃木			5	○	④	6	8	10	／	○	③	9	②	7	⑤	①横浜	
55	6	茨城	(山梨)	○	5	○	8	2	④	○	／	10	7	5	6	3	9	1川崎	
56	7	神奈川			5	○	6	②	10	／	⑨	8	○	④	5	③	7	①川崎	
57	8	群馬			5	○	3	7	⑥	9	10	⑤	／	○	②	8	④	①静岡	
58	9	千葉					2	3	10	5	6	9	7	／	○	4	8	1浜松	政令市の事例発表枠について、順番的には新潟市が優先順位1位であるが、新潟市がH30年度にローテーションとは別に事例発表を行っているため、R9年度の事例発表については新潟市を飛ばして、次の順番の浜松市が優先順位1位となる。

○ : 分科会事例発表都県市、 \ : 開催都県、 ／ : 前年度開催都県、 数字: 発表候補都県市順番

関東甲信越静社会教育委員連絡協議会

全国大会・関ブロ大会の開催ローテーション(令和5年5月19日確認)

年 度	全国大会		関ブロ大会			理事会 提案時期	開催最終 確認時期	備考
	基 本(イ)	決定(ロ)	基 本(ハ)	開催都県	前回からの 間隔			
28	千葉県	千葉県	1 千葉県	千葉県	11	－	H26.3	
29			2 新潟県	静岡県	10	－	H27.3	
30			3 静岡県	長野県	10	－	H28.3	
元			4 埼玉県	埼玉県	10	H28.6	H29.3	
2	新潟県	新潟県	5 長野県	新潟県	14	H28.6	H30.3	
3			6 東京都	東京都	11	H28.6	H31.3	
4			7 茨城県	山梨県	10	H28.6	R2.3	
5			8 栃木県	栃木県	10	H28.6	R3.3	
6	静岡県	茨城県	9 山梨県	茨城県	13	H28.6	R4.3	
7			10 神奈川県	神奈川県	11	R1.5	R5.3	
8			11 群馬県	群馬県	11	R1.5	R6.3	
9			1 千葉県	千葉県	11	R1.5	R7.3	
10	埼玉県	静岡県	2 新潟県	静岡県	11	R1.5	R8.3	
11			3 静岡県	長野県	11	R5.5	R9.3	
12			4 埼玉県	新潟県	10	R5.5	R10.3	
13			5 長野県	東京都	10	R5.5	R11.3	
14	茨城県	埼玉県	6 東京都	埼玉県	13	R5.5	R12.3	
15			7 茨城県	山梨県	11	R8.5	R13.3	
16			8 栃木県	茨城県	10	R8.5	R14.3	
17			9 山梨県	神奈川県	10	R8.5	R15.3	
18	栃木県	栃木県	10 神奈川県	栃木県	13	R8.5	R16.3	
19			11 群馬県	群馬県	11			
20			1 千葉県	千葉県	11			
21			2 新潟県	静岡県	11			
22	群馬県	長野県	3 静岡県	長野県	11			
23			4 埼玉県	新潟県	11			
24			5 長野県	東京都	11			
25			6 東京都	埼玉県	11			
26	長野県	山梨県	7 茨城県	山梨県	11			
27			8 栃木県	茨城県	11			
28			9 山梨県	神奈川県	11			
29			10 神奈川県	栃木県	11			
30	山梨県	群馬県	11 群馬県	群馬県	11			
31			1 千葉県	千葉県	11			
32			2 新潟県	静岡県	11			
33			3 静岡県	長野県	11			
34	神奈川県	東京都	4 埼玉県	東京都	10			
35			5 長野県	新潟県	12			
36			6 東京都	埼玉県	11			
37			7 茨城県	山梨県	11			
38	東京都	神奈川県	8 栃木県	神奈川県	10			
39			9 山梨県	茨城県	12			
40			10 神奈川県	栃木県	11			
41			11 群馬県	群馬県	11			

【関東甲信越静社会教育研究大会開催都県の決定及び確認方法について】

1. 開催年度の3年前の3月までに関ブロ理事会で正式決定する。
2. 開催都県の順番は、関東甲信越静地区で定めた「基本ローテーション(ハ)」により決定するが、全国大会(関ブロ大会と同時開催)の開催間隔を考慮し、一部開催順序を入れ替える。
3. 全国大会の開催都県(ロ)は、平成27年度確認により、千葉県を起点とした基本ローテーション(イ)を定め、関ブロ大会の開催間隔を踏まえ、開催順序を適宜入れ替え決定する。

令和8年度関東甲信越静社会教育委員連絡協議会事務局一覧表

(令和8年4月現在)

上段：会長等
中段：事務局長
下段：担当者

NO	団体名	住所（上）／電子メールアドレス（下）	電話（上）／FAX（下）	会長等・事務局
1	茨城県社会教育委員連絡協議会	〒310-8588 水戸市笠原町978-6 茨城県教育庁総務企画部 生涯学習課振興G内 shogaku1@pref.ibaraki.lg.jp	029-301-5318 029-301-5339	稲葉 里子 坪井 麻紀子 阿部 裕美
2	栃木県社会教育委員協議会	〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20 栃木県教育委員会 生涯学習課内 shinsei-syougaiakusyu@pref.tochigi.lg.jp	028-623-3404	佐竹 信哉 上崎 桂子 井上 昌幸
3	群馬県社会教育委員連絡協議会 (令和8年度事務局担当)	〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 群馬県教育委員会 生涯学習課内 kigakushu@pref.gunma.lg.jp	027-226-4666 027-224-8780	岩崎 哲 長谷 康夫 田野崎 和人
4	埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会	〒350-0192 埼玉県加須市北小浜1194-2 加須市教育委員会生涯学習課内 shogai@city.kazo.lg.jp	0480-62-1223 0480-62-2221	中根 将行 塚田 義正 坂本 征男
5	千葉県社会教育委員連絡協議会	〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1 千葉県教育庁教育振興部 生涯学習課内 skren_chiba@pref.chiba.lg.jp	043-223-4071 043-222-3565	二宮 義文 山下 英之 今井 隆太
6	東京都生涯学習審議会委員連絡協議会	〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1 都庁第二本庁舎16階 東京都教育庁地域教育支援部 生涯学習課内 S900027@section.metro.tokyo.jp	03-5320-6874	笹井 宏益 季武 雅子 来住野 清子
7	東京都市町村社会教育委員連絡協議会	〒187-8701 小平市小川町2-1333 小平市教育委員会 教育部 地域学習支援課内 chiikigakushushien@city.kodaira.lg.jp	042-346-9574 042-346-9578	生尾 光 照井 幸枝 中田 智久
8	神奈川県社会教育委員連絡協議会	〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県教育委員会教育局生涯学習部生涯学習課内 syakyou@pref.kanagawa.lg.jp	045-210-8347 045-663-2115	小池 茂子 尾上 夏子 小林 正幸
9	新潟県社会教育委員連絡協議会	〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1 新潟県教育庁 生涯学習推進課内 ngt500060@pref.niigata.lg.jp	025-280-5140 025-284-9396	山田 智之 庭野 敦史 長谷川 茜
10	山梨県社会教育委員連絡協議会	〒400-8504 甲府市丸の内1-6-1 山梨県教育庁 社会教育課内 shakaikyo@pref.yamanashi.lg.jp	055-223-1770 055-223-1775	加藤 重義 高山 尚己 河西 絵美
11	長野県社会教育委員連絡協議会	〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県教育委員会事務局 生涯学習課内 syakyou@pref.nagano.lg.jp	026-235-7437 026-235-7493	羽田 吉彦 若林 厚子 油井 玲子
12	静岡県社会教育委員連絡協議会	〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 静岡県教育委員会 社会教育課内 shizu.shakyoren@po3.across.or.jp	054-252-0620 054-252-0620	中嶋るり子 － 水野さみ代
13	さいたま市社会教育委員会	〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4 さいたま市教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習振興課内 shogai-gakushu-shinko@city.saitama.lg.jp	048-829-1704 048-829-1989	梶野 光信 － 駒井 友里香
14	千葉市社会教育委員会	〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号 千葉市教育委員会 生涯学習振興課内 shogaigakushu.EDL@city.chiba.lg.jp	043-245-5954 043-245-5992	未定 西森 照泰 秋山 美緒
15	横浜市社会教育委員会	〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 横浜市教育委員会事務局 生涯学習文化財課内 ky-gakusyu@city.yokohama.lg.jp	045-671-3282 045-224-5863	牧野 篤 粕谷 美路 今泉 春奈
16	川崎市社会教育委員会	〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1 川崎市教育委員会事務局 生涯学習推進課内 88syogai@city.kawasaki.jp	044-200-3303 044-200-3679	未定 大島 健之 仲田 浩
17	相模原市社会教育委員会	〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15 相模原市教育委員会 生涯学習課内 shogaku@city.sagamihara.kanagawa.jp	042-769-8287 042-754-7990	秦野 玲子 稲野 博泰 天野 光洋
18	静岡市社会教育委員会	〒424-8701 静岡市清水区旭町6-8清水庁舎8階 静岡市教育委員会 教育総務課内 kyoikusomu@city.shizuoka.lg.jp	054-354-2369 054-354-2472	未定 島田 裕介 益田 ちづる
19	浜松市社会教育委員会	〒430-8652 浜松市中区元城町103-2 浜松市役所 市民部 創造都市・文化振興課 shogaig@city.hamamatsu.shizuoka.jp	053-457-2413 050-3730-2887	山本 巖 加藤 元一 袴田 陽太
20	新潟市社会教育委員会	〒951-8554 新潟市中央区古町通7番町1010番地 古町ルフル4階 新潟市教育委員会 生涯学習推進課内 lifelong.ed@city.niigata.lg.jp	025-226-3277 025-226-0053	佐藤 裕紀 山口 穰 神原 健太
	(一社)全国社会教育委員連合	〒101-0065 千代田区西神田3-1-6 日本弘道会ビル7階 shakyoren@shakyoren.or.jp	03-6380-8540 03-6380-8541	鈴木 眞理 豊田 政治 鳥越 留美子

**令和 8 年度関東甲信越静社会教育委員連絡協議会
第 1 回理事会出席者名簿**

N0	団体名	会長等・事務局	備考
1	全国社会教育委員連合	鈴木 眞理	ご来賓
2		豊田 政治	ご来賓
3	茨城県社会教育委員連絡協議会	稲葉 里子	会長
4		阿部 裕美	事務局
5	栃木県社会教育委員協議会	池澤 彩花	事務局
6	千葉県社会教育委員連絡協議会	鈴木 正一郎	副会長
7		今井 隆太	事務局
8	東京都市町村社会教育委員連絡協議会	中田 智久	事務局
9	神奈川県社会教育委員連絡協議会	小池 茂子	議長
10		尾上 夏子	事務局長
11	山梨県社会教育委員連絡協議会	加藤 重義	会長
12		河西 絵美	事務局
13	長野県社会教育委員連絡協議会	羽田 吉彦	会長
14		油井 玲子	事務局
15	静岡県社会教育委員連絡協議会	中寫 るり子	会長
16		水野きみ代	事務局
17	相模原市社会教育委員会議	秦野 玲子	議長
18	浜松市社会教育委員会	袴田 陽太	事務局
19	群馬県社会教育委員連絡協議会	佐藤 忍	副会長
20		箱田 陽子	事務局
21		田野崎 和人	事務局

令和8年度 関東甲信越静 社会教育委員連絡協議会 第1回理事会 座席表

(一社)全国社会教育委員連合				
群馬県 事務局 箱田 陽子	神奈川県 会長 小池 茂子 様	群馬県 副会長 佐藤 忍 様	千葉県 副会長 鈴木 正一郎 様	会長 鈴木 眞理 様 常務理事 豊田 政治 様
群馬県 事務局 田野崎 和人				茨城県 会長 稲葉 里子 様
浜松市 事務局 袴田 陽太 様				茨城県 事務局 阿部 裕美 様
相模原市 議長 秦野 玲子 様				栃木県 事務局 池澤 彩花 様
静岡県 事務局 水野 きみ代 様				千葉県 事務局 今井 隆太 様
静岡県 会長 中嶋 るり子 様				
長野県 事務局 油井 玲子 様	長野県 会長 羽田 吉彦 様	山梨県 事務局 河西 絵美 様	山梨県 会長 加藤 重義 様	神奈川県 事務局長 東京都 事務局 尾上 夏子 様 中田 智久

受付

令和8年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会役員名簿

令和8年7月17日現在

1 会長・副会長・会計

役職名	氏名	所属	備考
会長	生尾 光	小平市	
副会長	須崎 奈緒美	日野市	
	森田 明美	東村山市	
会計	小林 裕子	小平市	

2 会計監査

役職名	氏名	所属	備考
会計監査	吉野 康一	青梅市	
	田中 雅文	三鷹市	

3 理事

理事	会長市2名 他市町(28市町)各1名 計30名
----	----------------------------

令和8年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会理事名簿

令和8年7月17日現在

ブロック	市 町 名	理事氏名	ブロック 幹事市
第一ブロック	青 梅 市	宮野 良一	
	福 生 市	會田 ゆき子	
	羽 村 市	川津 紘順	
	あきる野市	海老沢 治美	
	瑞 穂 町	牧野 壽義	
	奥 多 摩 町	谷田貝 美鈴	
	日 の 出 町	對馬 伸一郎	○
第二ブロック	立 川 市	末松 裕基	
	昭 島 市	谷部 憲一	
	国 分 寺 市	山崎 明子	
	国 立 市	生島 美和	
	東 大 和 市	池田 陽子	○
	武蔵村山市	長堀 雅春	
第三ブロック	八 王 子 市	三浦 眞一	
	町田市	仙北谷 正樹	
	日 野 市	須崎 奈緒美	
	多 摩 市	長島 剛	
	稲 城 市	渡邊 真砂子	○

ブロック	市 町 名	理事氏名	ブロック 幹事市
第四ブロック	小 平 市	生尾 光	
	東 村 山 市	森田 明美	・○
	西 東 京 市	川原 健太郎	
	清 瀬 市	倉持 伸江	
	東久留米市	菅沼 法子	
第五ブロック	武 蔵 野 市	辻本 昭彦	
	三 鷹 市	田中 雅文	
	府 中 市	長畑 誠	
	調 布 市	篠崎 光正	
	小 金 井 市	笹井 宏益	○
	狛 江 市	塚越 博道	

東京都市町村社会教育委員連絡協議会役員輪番表

年度	会 長	副 会 長		会 計	会 計 監 査	
令和 2	青 梅 市	府 中 市	昭 島 市	青 梅 市	武蔵村山市	多 摩 市
3	府 中 市	昭 島 市	調 布 市	府 中 市	稲 城 市	羽 村 市
4	昭 島 市	調 布 市	町 田 市	昭 島 市	あきる野市	西 東 京 市
5	調 布 市	町 田 市	小 金 井 市	調 布 市	瑞 穂 町	日 の 出 町
6	町 田 市	小 金 井 市	小 平 市	町 田 市	奥 多 摩 町	八 王 子 市
7	小 金 井 市	小 平 市	日 野 市	小 金 井 市	立 川 市	武蔵野市
8	小 平 市	日 野 市	東 村 山 市	小 平 市	三 鷹 市	青 梅 市
9	日 野 市	東 村 山 市	国 分 寺 市	日 野 市	府 中 市	昭 島 市
10	東 村 山 市	国 分 寺 市	国 立 市	東 村 山 市	調 布 市	町 田 市
11	国 分 寺 市	国 立 市	福 生 市	国 分 寺 市	小 金 井 市	小 平 市
12	国 立 市	福 生 市	狛 江 市	国 立 市	日 野 市	東 村 山 市
13	福 生 市	狛 江 市	東 大 和 市	福 生 市	国 分 寺 市	国 立 市
14	狛 江 市	東 大 和 市	清 瀬 市	狛 江 市	福 生 市	東久留米市
15	東 大 和 市	清 瀬 市	東久留米市	東 大 和 市	武蔵村山市	狛 江 市
16	清 瀬 市	東久留米市	武蔵村山市	清 瀬 市	東 大 和 市	多 摩 市

※ 会計監査については、会長市が会計監査とならないように、輪番が変更しています。

〈 輪番について 〉

ア 市町制施行順とする。

イ 平成6年度から副会長を2年間務めた市が会長市となる。

ウ 町が輪番の時は、副会長を1年務める。この場合副会長は市と町で務め、市は翌年会長市になる。

都市社連協ブロック編成、役員及びブロック幹事一覧

	市 町 名	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
第一ブロック	青 梅 市		監査		○						
	福 生 市					○副会長	副会長	会長	監査		
	羽 村 市							○			
	あきる野市						○				
	瑞 穂 町	○							○		
	奥 多 摩 町			○							○
	日 の 出 町		○							○	
第二ブロック	立 川 市	監査			○						○
	昭 島 市			監査		○					
	国 分 寺 市	○		副会長	副会長	会長	○	監査			
	国 立 市				副会長	副会長	会長	○監査			
	東 大 和 市		○					副会長	○副会長	会長	監査
	武蔵村山市			○						○監査	副会長
第三ブロック	八 王 子 市			○					○		
	町 田 市	○			監査		○				
	日 野 市	副会長	副会長	会長	○		監査			○	
	稲 城 市		○					○			
	多 摩 市					○					○監査
第四ブロック	小 平 市	副会長	会長	○		監査			○		
	東 村 山 市		○副会長	副会長	会長		監査	○			
	西 東 京 市	○					○				○
	清 瀬 市					○			副会長	副会長	会長
	東久留米市				○				監査	○副会長	副会長
第五ブロック	武 蔵 野 市	監査			○						○
	三 鷹 市		監査			○					
	府 中 市			監査			○				
	調 布 市	○			監査			○			
	小 金 井 市	会長	○			監査			○		
	狛 江 市			○			副会長	副会長	会長	○監査	

※会長担当市は会計も併せて担当します。

※「○」はブロック幹事市です。